

スーパーロボット大戦OGサーガ *RyuKoOh Denki*
THE FINAL

龍虎王

伝奇

完結編

原作 寺田信
作画 富士原忠幸
スーパーロボット大戦OGサーガ



電撃コミックス
NEXT

SUPER ROBOT WARS OG SAGA
RYUKOUSHINKI
THE FINAL



CONTENTS

古代中国に伝わる伝説の巨大な機械人形「超機人」……人智を越えた力を持つ超機人を巡る戦いは、明治時代・日清戦争前夜の清国・蚩尤塚を皮切りに、第二次世界大戦の緊張が高まる昭和へと時代を超えて続いていた。

超機人を狙う謎の結社「バラル」に両親を殺された蚩尤塚を護る一族の少女・飛麗(フェイリー)は、バラルと戦う世界的組織「オーダー」と出会う。バラルに愛する者や故郷を奪われた者達が集うオーダーに飛麗も加わり、鋼機人「轟龍」のパイロットとして、バラルが送り出す妖機人との戦いに身を投じていく。

両者が探し出そうとしている「バラルの門」とはいかなるものか？ オーダーの母艦・魁龍を指揮する艦長の正体は？ そして龍虎王に目覚めの時は訪れるのか……。



飛麗
フェイリー



美囁
みよ



ドワード
ドワード



艦長



もも



郷夜
りょうや

第二部

- 第参話 妖機蠢動 (1.1.3)
- 第四話 光雀飛翔 (1.3.5)
- 第伍話 妖機強襲 (1.5.7)
- 第陸話 四罪猛攻 (1.7.9)
- 第七話 龍虎復活 (1.9.1)
- 第八話 靈龜決戦 (1.1.7)

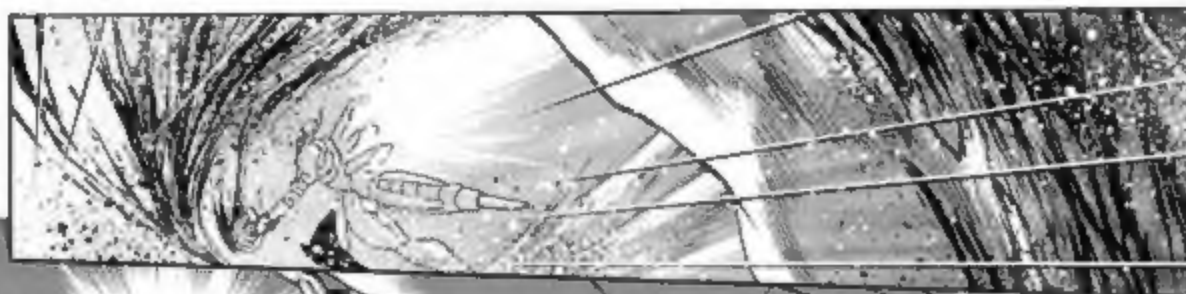
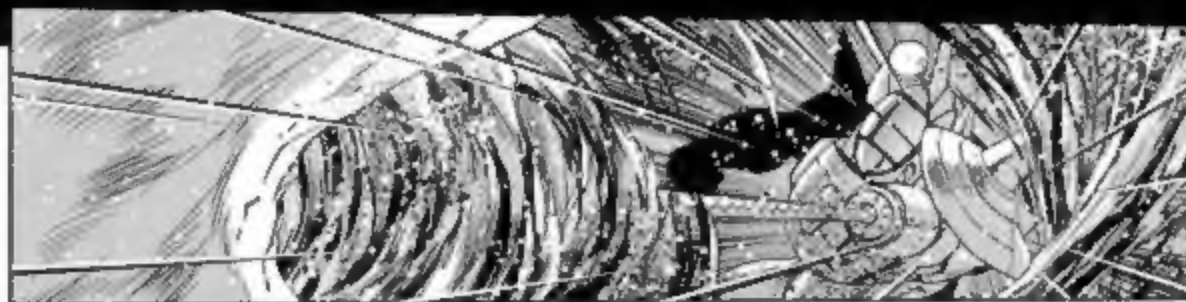
おまけ四コマ (1.5.7)

あとがき (1.5.9)

——始まりの時——



——そして——^{いま}現在——



超国家組織
オーダーの



謎の組織
バルと



戦いの幕が

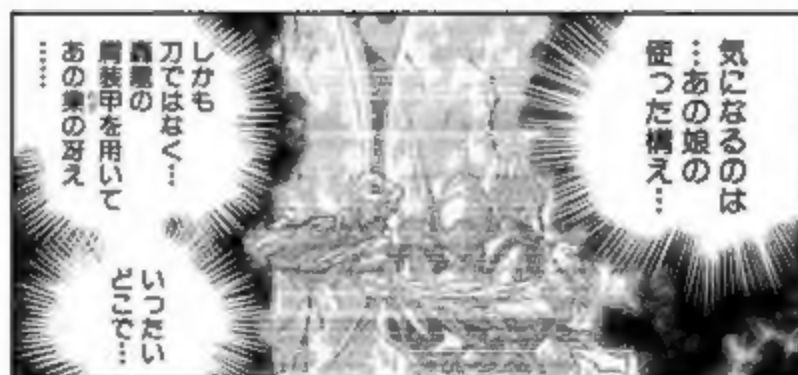
切つて
落とされ
た!!!

第二部 第三話
『妖機蠢動』



オーダー潜水母艦 『かいりゅう魁龍』







——俺の
女房も
日本人だよ

いい女
なんだ
これが



こんな
ご時世だ
苦労かけ
まくってる
のによ

何ひとつ
文句
言わねえで
尽くして
くれてる



確かに
嵐武は
いい機体さ

だけど
しょせんは
支援機だ



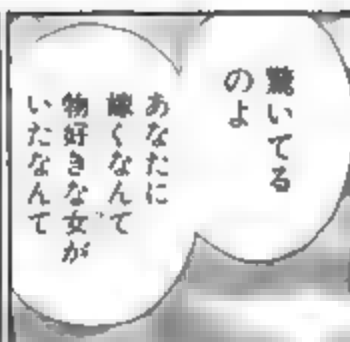
俺あここで
もつと
手柄立てて
稼いでよ

あいつに
いい思い
させて
やりてえんだ

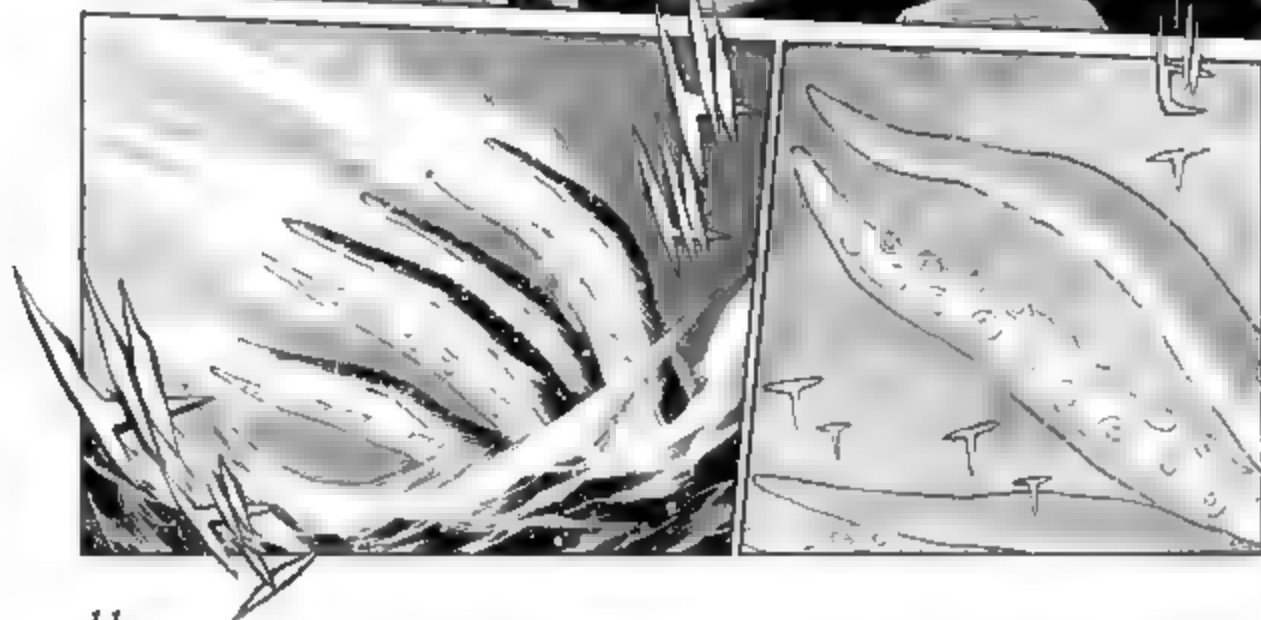


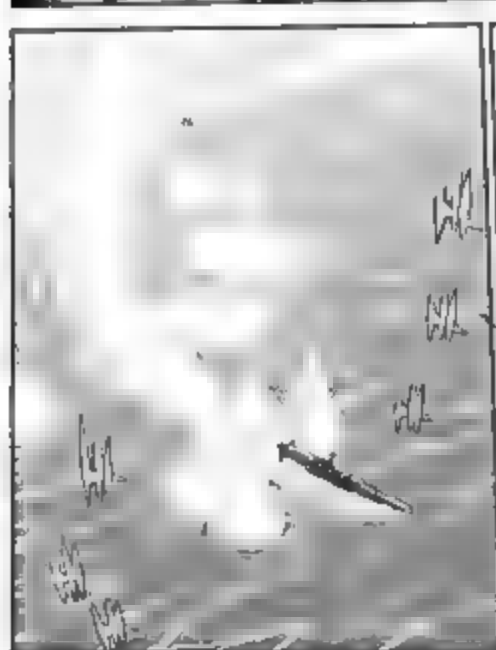
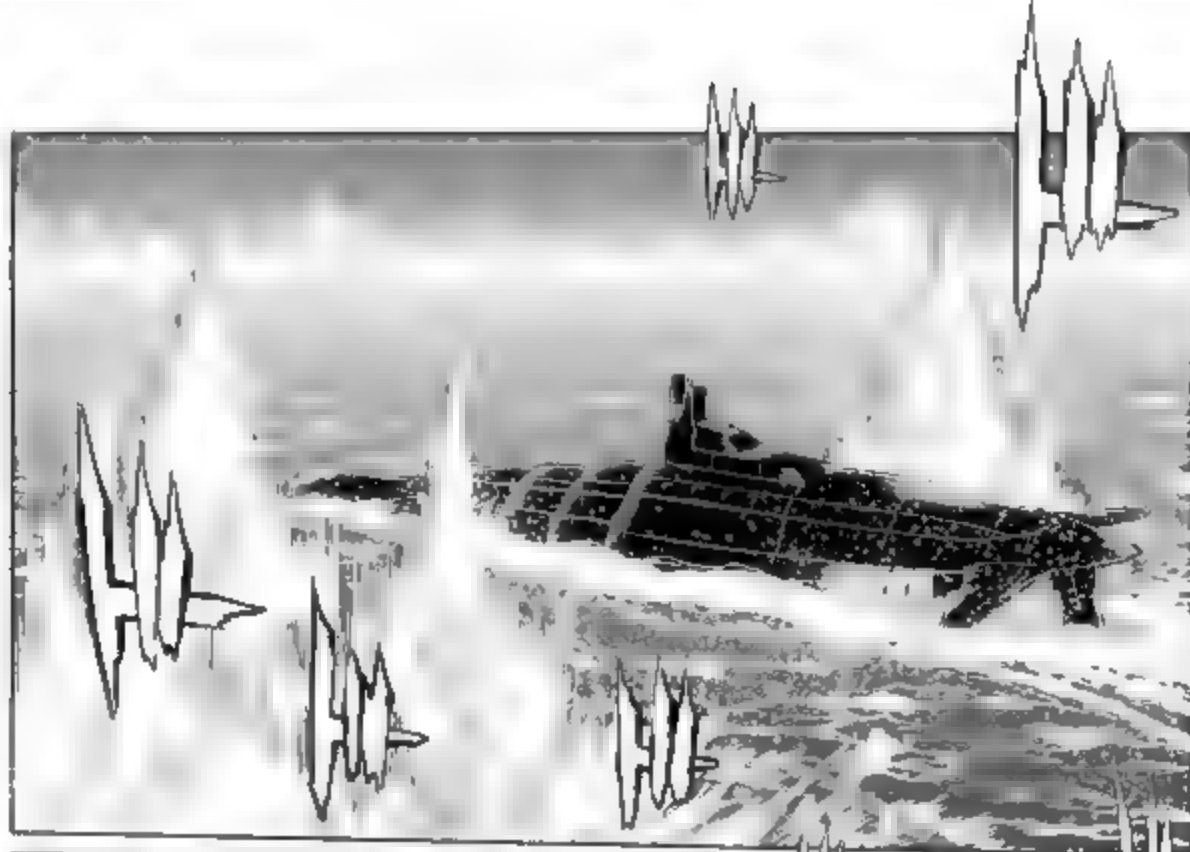
何だよ

……









取舵
一杯 //

妖機人
発砲 //

至近弾
4 /

本艦に
損傷
無し //

相対位置
変わらず

砲戦用の
妖機人か
……

後ろに
つかれては
魁龍の
主砲は
使えん……

艦長!

七時方向
距離七〇〇〇に
付けてきます!

——うむ
嵐武を
後甲板に
配置

雷虎は
敵の接近に
備えて
待機だ

嵐武
発進準備

機珠装填
完了!!

ようし……
出番だぜ

580秒
です!

今回の
リミットは

上等だ

クラン

おう
エドワード
今回お前の
出番は

無いぜ!

……
頼むよ

一号符
解除!

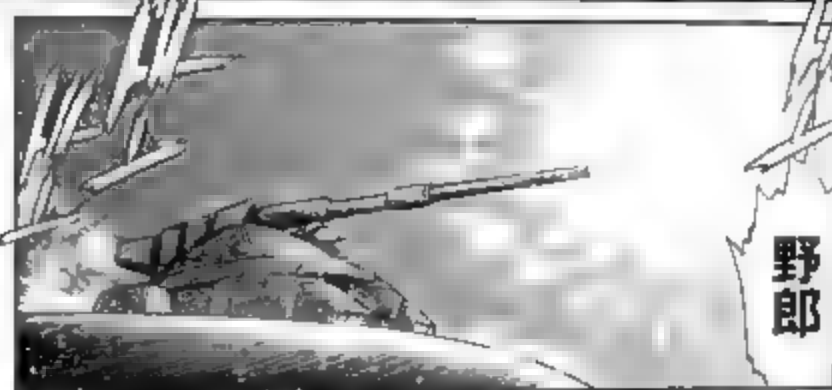
二号符
浄化
開始!!

ハッチ
閉鎖!!

主機炉
起動確認
!!

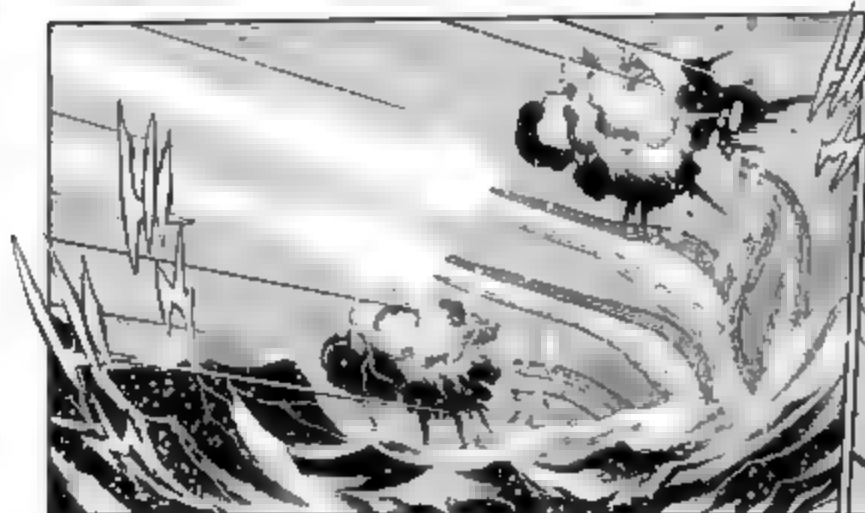
嵐武
発進!!





野郎

なにっ



光の膜で
はじいた…っ



冗談じゃ
ねえぜ…

何の
手柄も
立てずに
すっこめる
かよ

おおお

おおっ!!

おおお

おお



ら…
風武の
形か
変わって…

さらに
人型に
なっていく…

ハハ… 何だか
ハハ… 知らねえが

力が
みなぎって
くるぜ
……

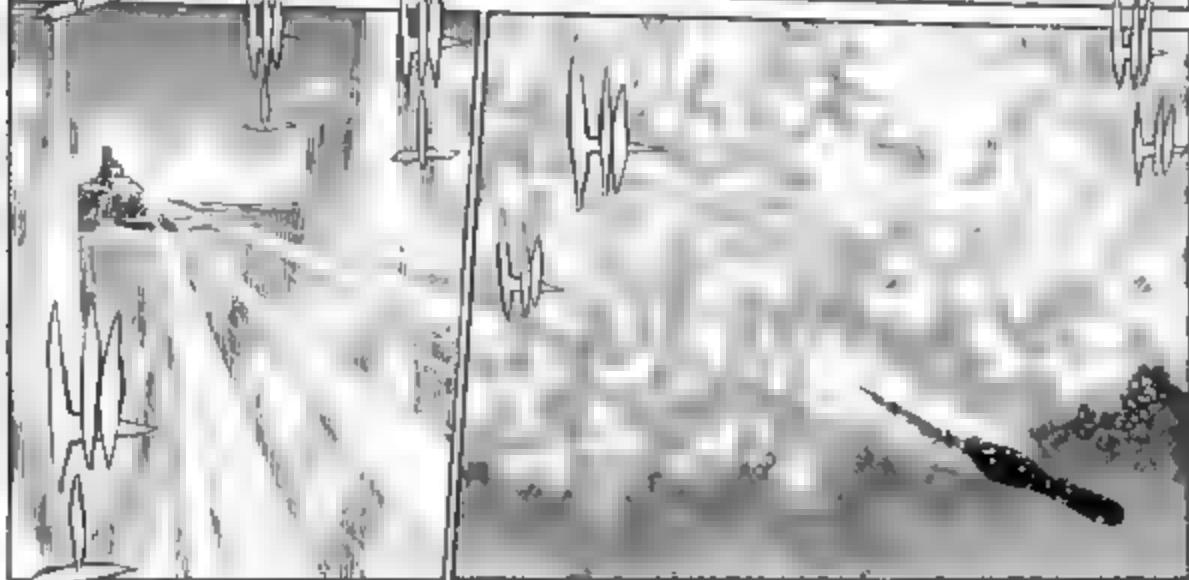
バカな…

風武に
あんな
機能は…





くうつつたばり
やがれえ



よし……
敵は
撤退した

早く
戻れ
クアン

五月、
五月、
五月、

なに……

オレは
よ

あいつの
ために

力が

もう
時間か
……

モッド

カヲ

デ、
妖魔人化
……!?

そんな

まだ
時間は
……!

雷虎
発進!!

機珠の
起動を
確認/
行け
ます!

了解/
雷虎
発進
する!!

嵐武を
取り押さえろ

落ち着け
クアン!

嵐武から
降りるんだ

どく
行きやがった
靖おおお

うせエぞ
エドワード

あいつも
俺の
種物だ

邪魔
すんじや
ねエ

男爵…

何て
ことを

理性を
失って
いる…

暴走した
魔珠を
破壊するしか
ない！



あがあがあがあがあが

うさ



いかん

余裕を
持つて
戦える
相手じや
ない…

そして
時間が過ぎれば
この雷虎も…

男爵…



こうなれば
二か八か

この雷虎の
最強技で

キミを
止める

馬鹿が

どうあっても
邪魔するっ
てんなら

焼きトラにして
食ってやる
ぜえええ

—やめ
ときな

あんな
デコでも
間違えて
殺したら
寝覚めが
悪いぜ



飛龍！

轟龍は
まだ…

ああ…

だから
仕上げは

あんたに
任せるよ

あいつの
構えは

あたしが
ブツ壊して
やる







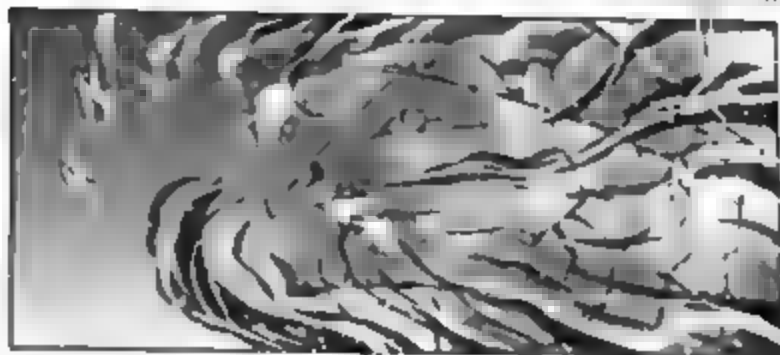
ああああ

邪魔すんじや
ねえよ
小娘ええ

俺は
あいつに...

...この

馬鹿
野郎が
.....!





——すまな
かったな

世話かけ
ちまった

蛸野郎を
撃ちまくった
あたりから
記憶が
切れきれ
なんだ

おめえにも
一応礼は
言つて
おくぜ

ハッ!
あんたは
いーけと
カメさんは
大事だ
からね

この
……ムカつく

いや……
キミの身体に
異常が無くて
良かったよ

嵐武は少々
変わって
しまった
からね

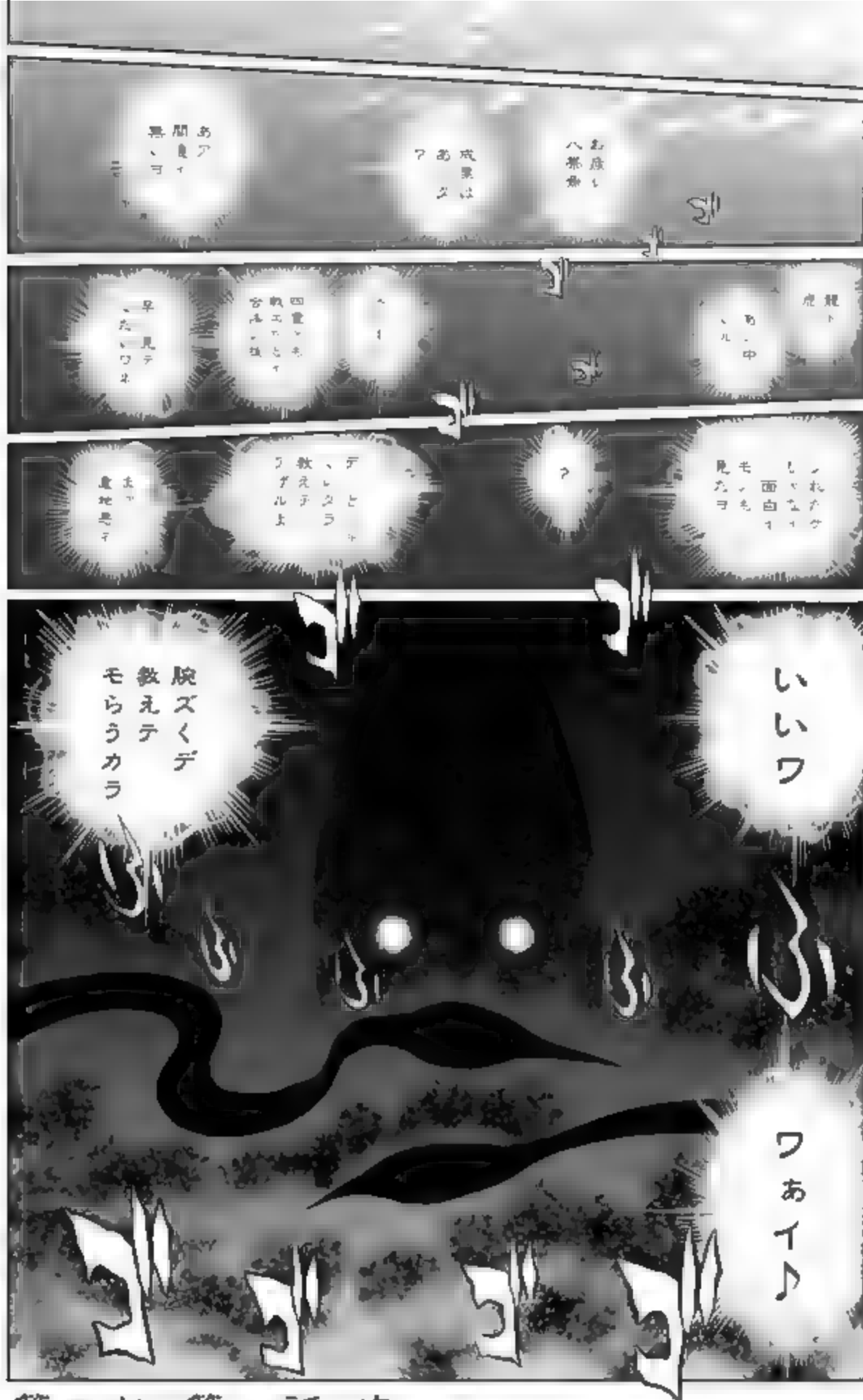
ああ……

あれが
妖機人化っ
てやつか

おそろく









—この
うう／

チヨコマカ
しやがっ
てっ／

——どうして——



奴らの
コンピネー
ションが
厄介だ

数は
三三

それは
ともかく

——どうして動かないの——



特にあの
空飛ぶ
野郎かな

涼夜は
何して
やがる

わからない

第二部 第四話
『光雀飛翔』



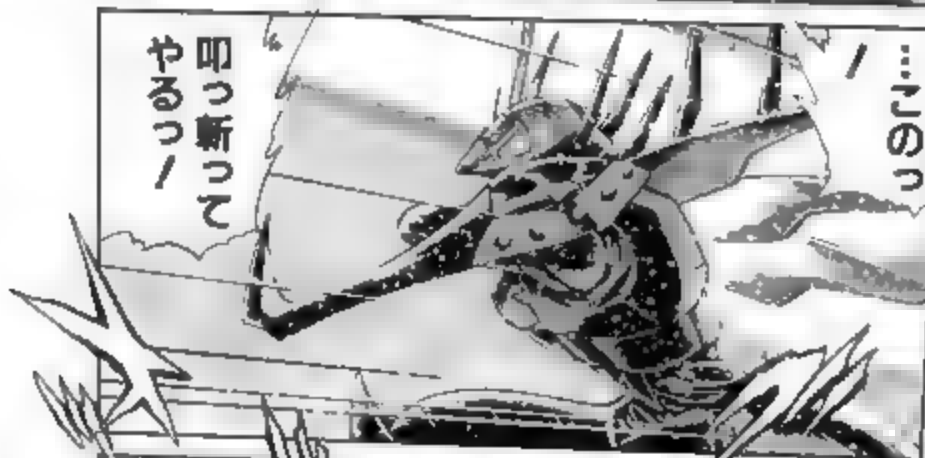
先の戦いから
一週間

航海を続ける
魁龍は
妖機人二体の
襲撃を
受けていた

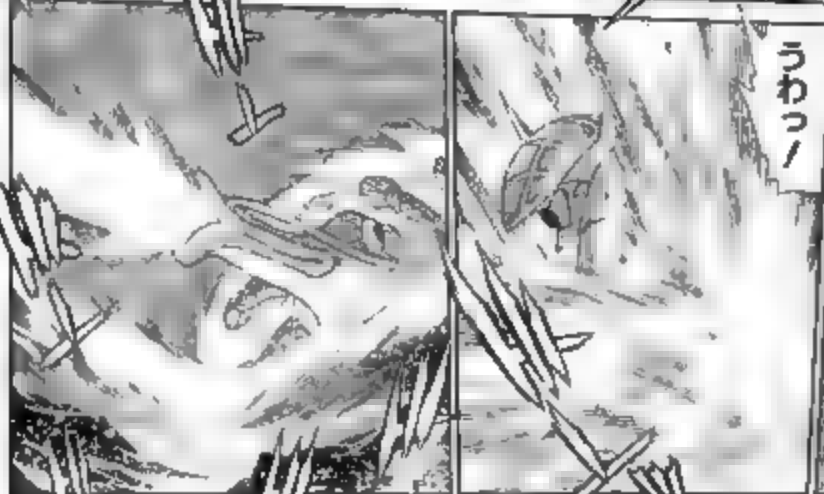


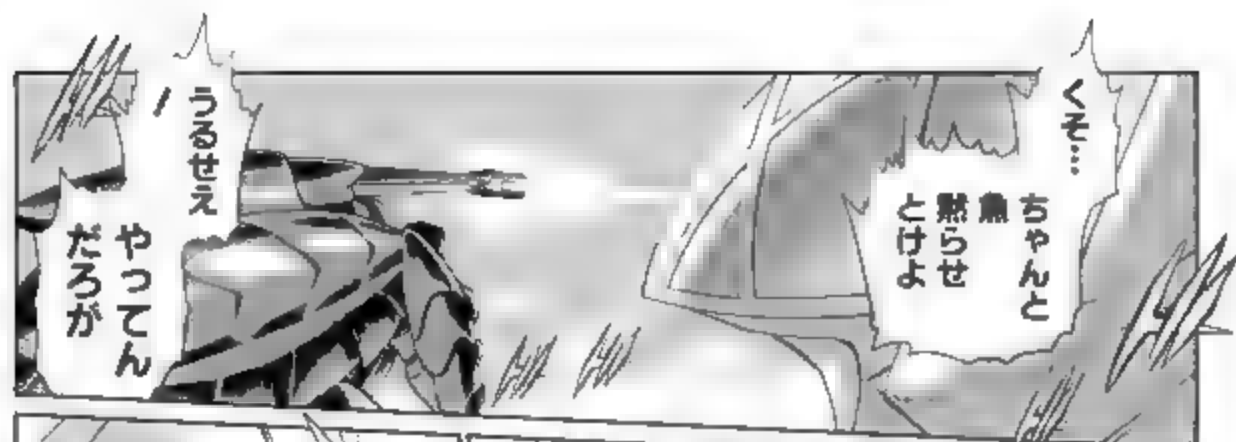
…んんん

叩っ斬って
やるっ！



うわっ！







おやあー

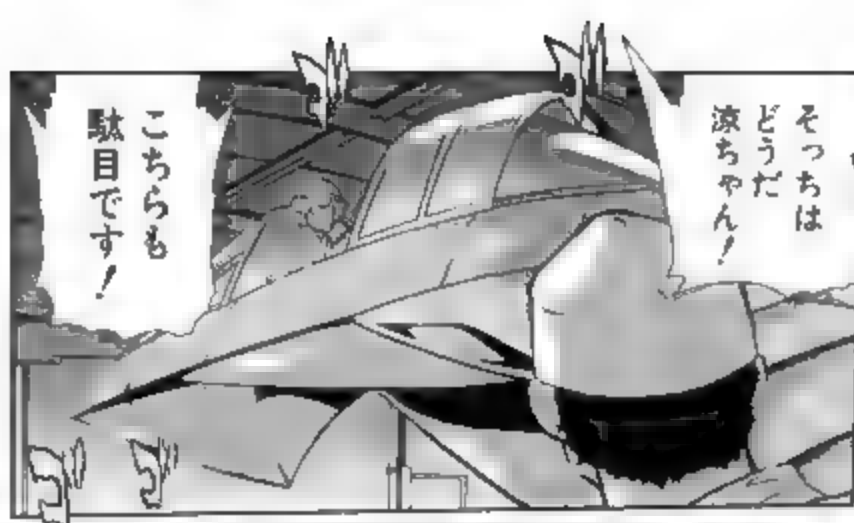
あの空飛ぶ
妖機人が要所で
こちらの連係を
つぶしていく…

奴を
何とか
しなければ
…

光雀は
まだか…

涼夜
…!!





こちらも
駄目です！

そっちは
どうだ
涼ちゃん！



だめです
……！

主機が
反応
しません！



どうします
……一か八か
機體符を
はがして
みますか

いや……
さすがにそれは
リスクが
でかすぎる
とにかく
最初から
点検し直した

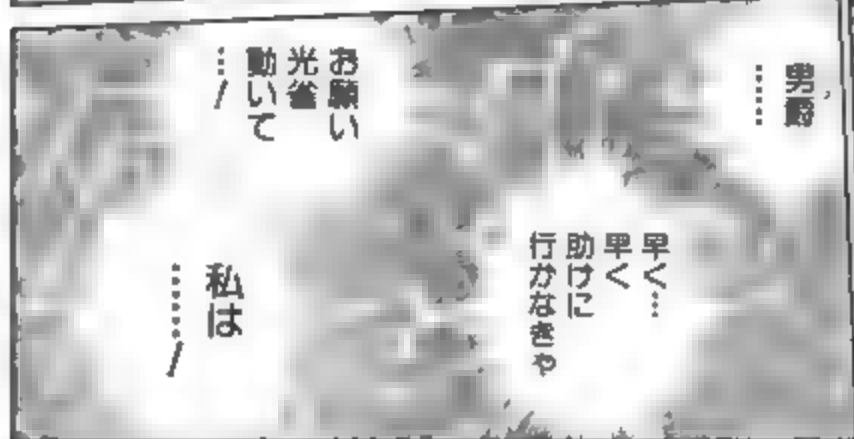


響虎が
空飛ぶ
妖機人に
攻撃されてる

早く
光雀を
出すぞっ！



うわあっ！



男爵
……

お願い
光雀
動いて
……！

早く……
早く……
助けに
行かないや

私は
……！

アナタ
ハ……?

稲郷
……
涼夜さん

いい名前
だね

あ
いえ……

よろしく
お願い
します

こちらこそ
僕は
エドワード・
グリムズ

だからそれは
やめてくれて
言ってる
だろう
クラウド

どうして

キミに
ふさわしいよ
男爵

男爵って
呼んでやって
くれたまえ

私は……



—涼夜

私の
娘です

よく孫と
間違われ
ますよ

あなたのおかげで
遅い結婚
でしたからね

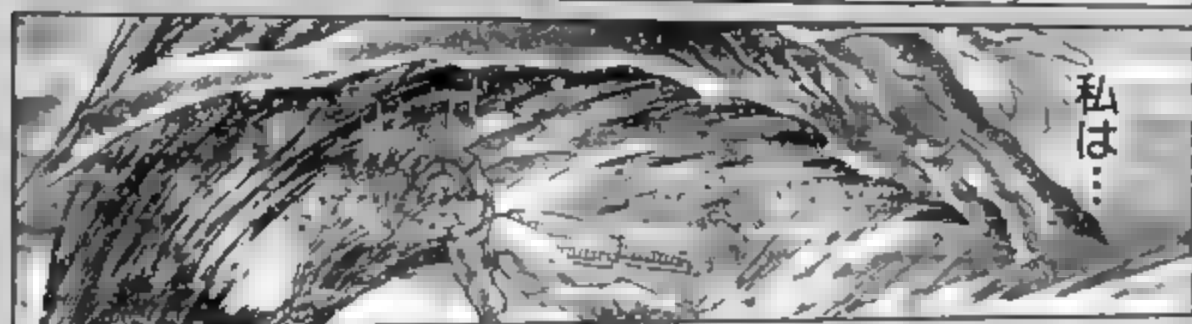
御挨拶
しなさい
涼夜

この方は
オーダーの
新しい
戦闘指揮官

そして
おまえの

え……

轟龍から
乗り換え
……？





光雀!!!

動きなさい

戦わなければ
いけないのよ

私も
……!

だから



え……

だめ
……涼夜

……
それでは





!! 美曜

み…



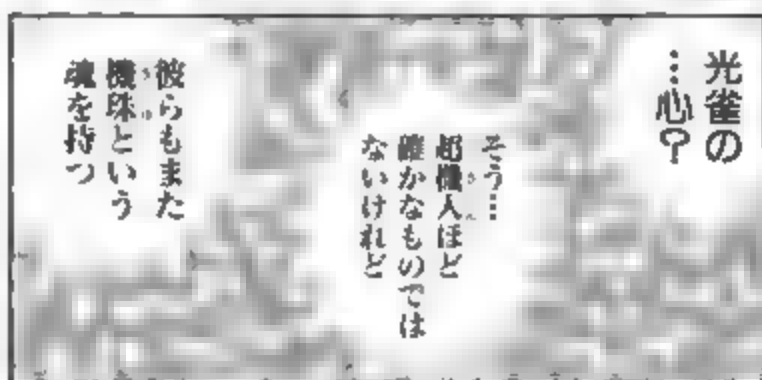
涼夜には
できる…

光雀の
心を
見て…



いえ
…これは
幻…

なぜ
ここに
…



彼らもまた
機珠という
魂を持つ

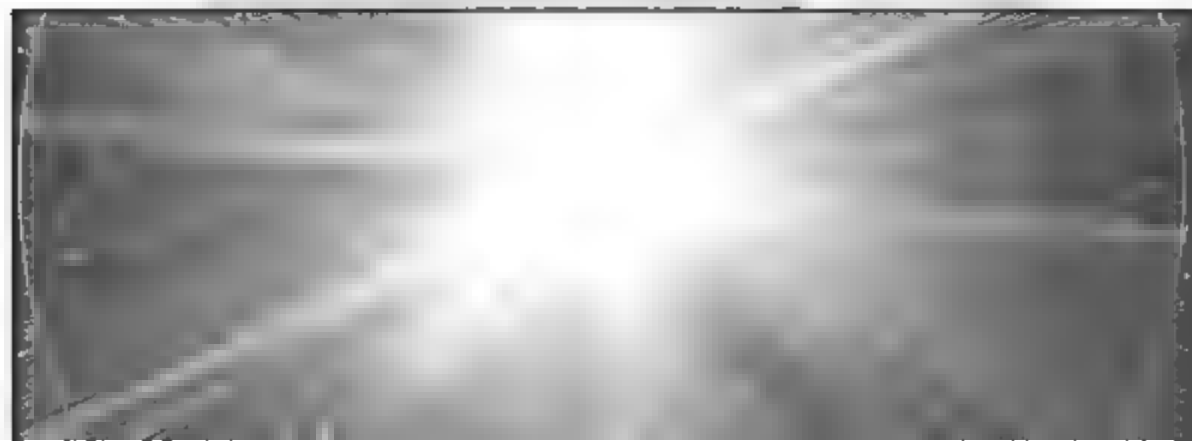
そう…
超機人ほど
確かなものでは
ないけれど

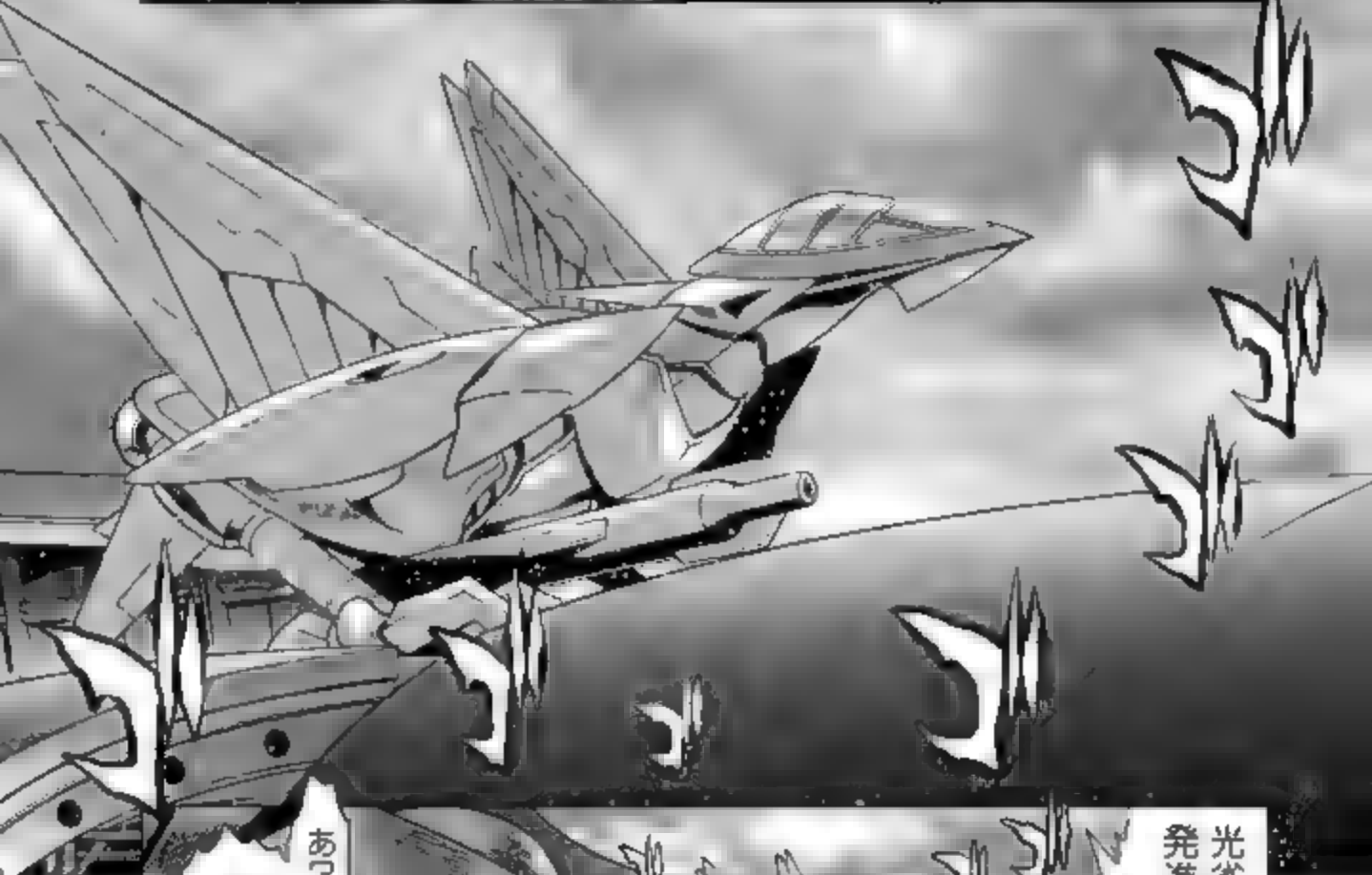
光雀の
…心？



だから
彼らは

鋼機人
って
いうの





あ？
いけるのか
あいつ？

光雀が
発進する
援護
せよ！



この
光雀と
いうのは
？

要するに
飛行機
かね

妖機人
相手に
役に
立つのか？

雷虎を
もう二機
造った方が
良くないかね

いやいや
一造るなら
轟龍
でしょう

あれが
二機あれば
どんな敵にも
敗けませんよ

：鳥さん
大変
みたいだな
：何かあたしに
手伝えること
ある？

：何も
無いわ

あなたは
轟龍を
すっかり
使えば
いい、そんな
……

そう

轟龍が
あれば
……
//

……
ごめんなさい
光雀……

私も確かに
そう
思っていた
……いえ
心の底では
今でもそうかも
しれない

言い訳は
しないわ

でも
……
今は
あなたの力が
必要なの

お願い
光雀

力を
貸して！





光雀が
飛んだぞ!!

やった..
/



魚が
雷虎を
狙ってる

クアンノ

わかって
らあ

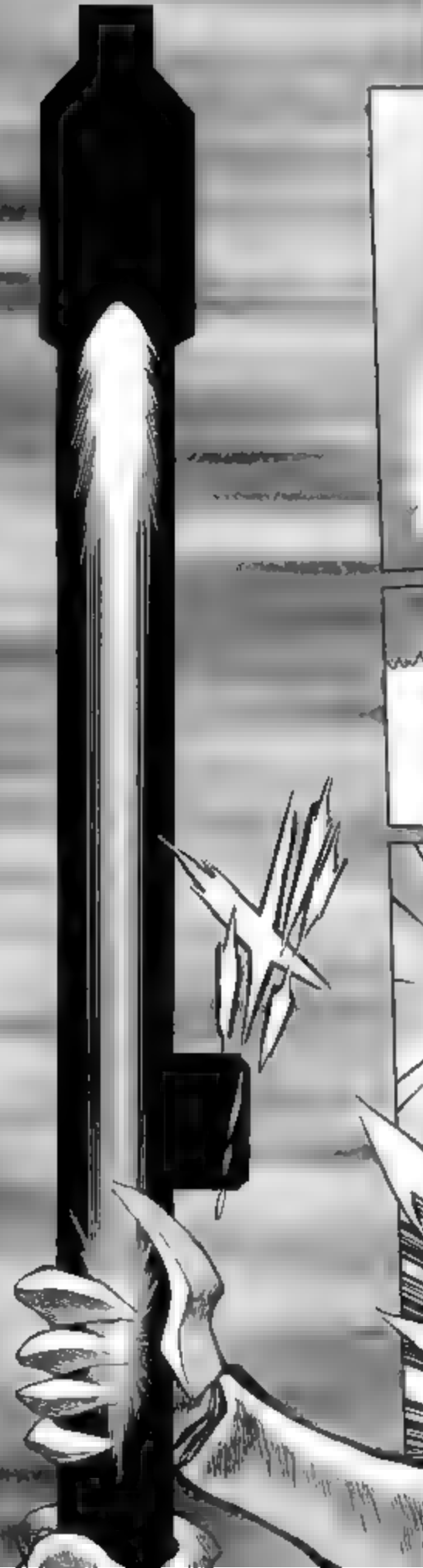
ち…

波間に
消え
やがった









あの
構え…

あたしと
同じ…

あのバカ
…

刀でもねえ
砲身構えて
何やってんだ

逃げち
まうぞ！







：気動砲
ですか：

あれは
飛鷹にしか
使えん
：いや

使わさ
せん

俺の不始末で
弟には
：信馬には
苦勞をかけた

あいつの
娘まで
死なせる
わけには
いかん

いよう
涼夜
凄かったじゃ
ねえか
ぶったまげ
たぜ

ふ
あれくらい
当然よ

いやいや
大した
もんだ
愛の力
って
やつだろ
ん？
ん？

十ああ

やけるねえ
エトワート
お熱いじゃ
ねえか
まったく

でも
ほんと
凄かったよ





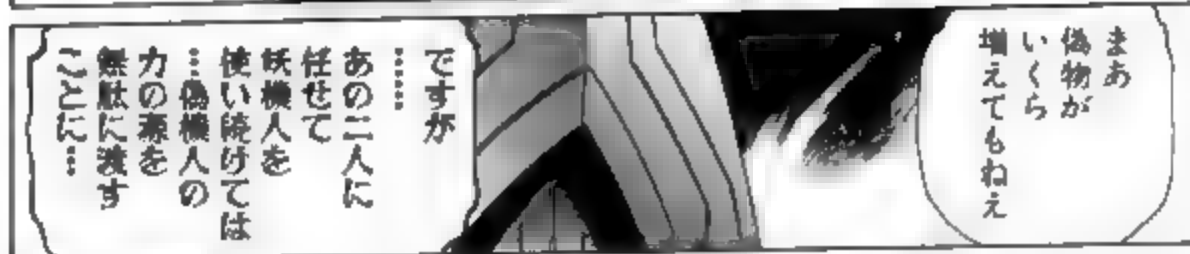
…ふうん

空飛ぶ
偽機人
ね



彼奴らは
手駒を
揃えつつ
あります

はっ



まあ
偽物が
いくら
増えてもねえ

ですが

あの二人に
任せて
妖機人を
使い続けては
…偽機人の
力の源を
無駄に消費す
ことに…



まあ
いいんじゃないかな

オーダーには
色々動いて
もらわなきゃ
ならないし
その方が
盛り上がる
じゃあないか

偽機人は
彼らにとって
両刃の剣
だしね



……
申し訳
ありません

やれやれ
地機仙の
君には
荷が
重いか

四仙の
誰かを
起こそうか？



それより
さ
まだ供物が
足りない
ようだね
？
質の質が
落ちて
いるのかな

た、
泰北様や
夏喃様達を
ですか…
それは…

じゃあ
頑張るん
だね

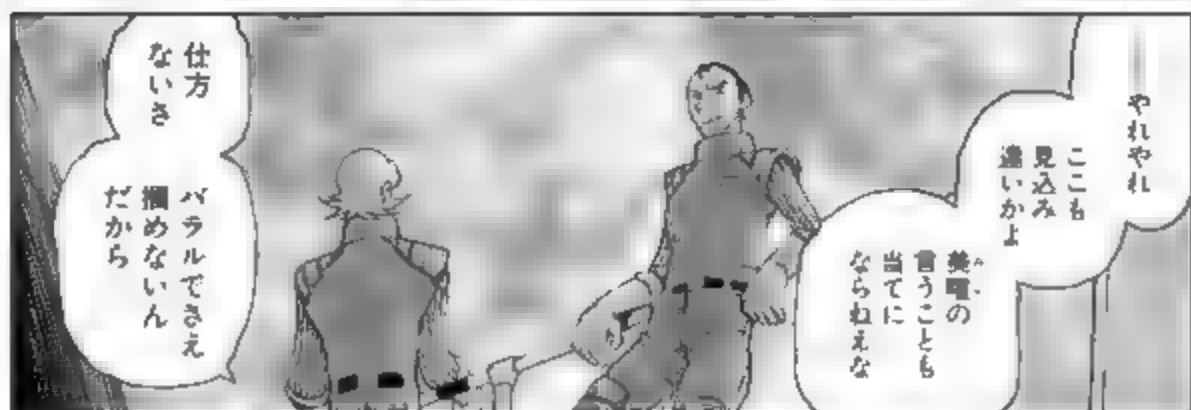
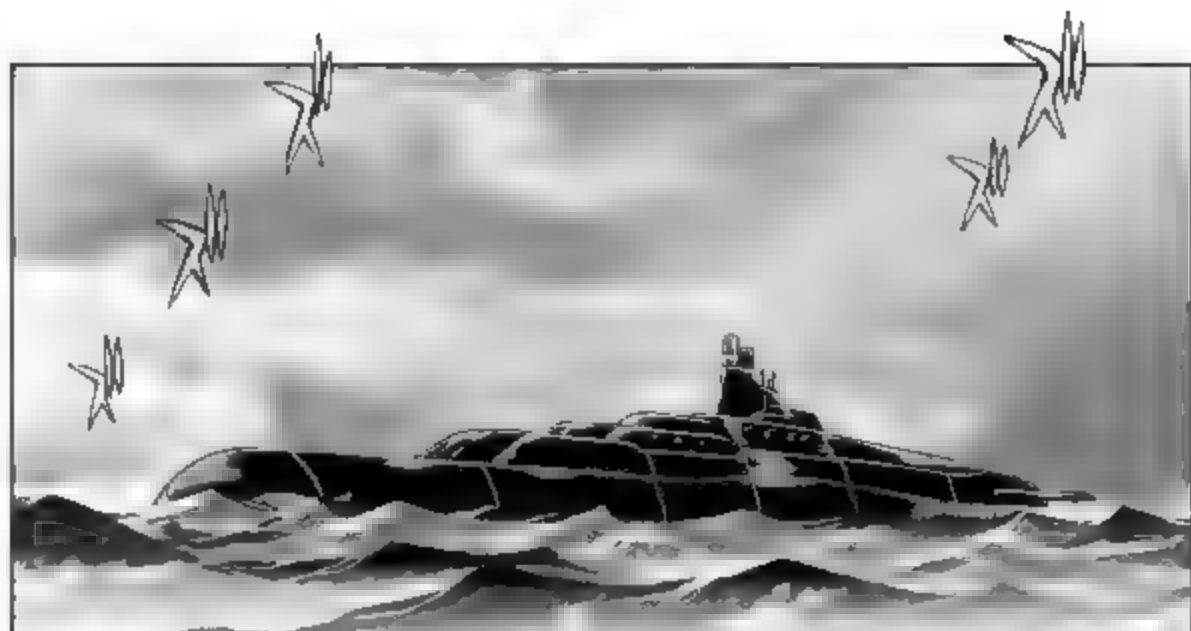
でなきや
こいつは

いつまでも

ただの

要塞だ

第二部 第四話 完



敵が――

来ます――

敵襲

!!

七時方向

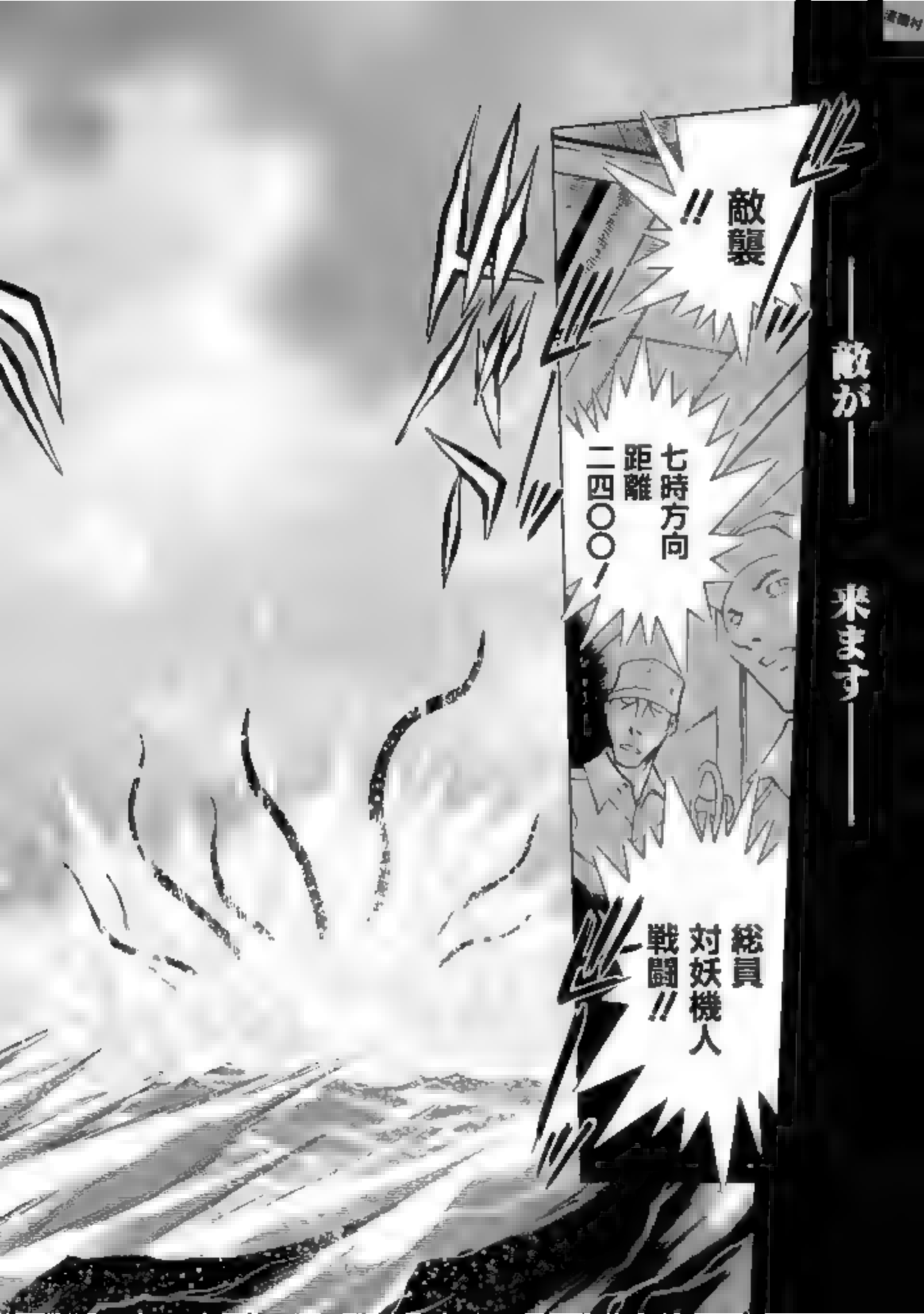
距離

二四〇〇-

総員

対妖機人

戦闘!!



第二部 第五話
『妖機強襲』



蛸です！

蛸型
妖機人
出現！！

艦長！

砲撃戦に
なる

嵐武を
出撃させる

前に出た
奴か…？

面白え
あの時は途中で
記憶が
すっ飛んだんだ
今度こそ
仕留めてやる！

あの時の
カメさんか

もう
キミに
用は
無いよ

そう

私達が
会いたい
ノは



その中デ
眠っている

王様達
だから



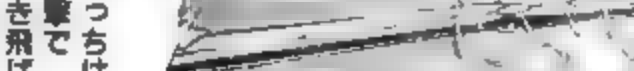
光雀

発艦
します



な
何だあ
?

鳥賊の
妖機人
だと…?



こっちは
一撃で
吹き飛ばして
やらあ／

けっ



弾道力
ノラマレ石

力す力でス力
念動結界ヲ
張・テ
いますネ

やはり
妖機人の
マ々デは
勝てません

了 解

二人とも

また
出撃する
つもりですか

もちろん
だよ
無言

僕達の
夢ヲ
かなエル
ためたカ
ハネ

しかし
……

たいたい
光龍様も
御承知
たロー

そん
方カ
ル
ン
テ
さ

——それに

あなたに
とって
悪い話
ないの
よ?

これは
私達の
地機
仙が

二氣
交感
機人
化成

鳥賊八
合体

地仙をモ
超え

天^{てん}仙^{せん}へト
至^{いた}ル道^{みち}なノ
だカラ



ハカ
……

妖機人が
合体した
……

それに
……今……
頭に……

声が
……響いた

まさか
あいつ……

人が
……

乗って
いる……？

フフ、

妖機、言え
ば人間じゃ
ないけどネ

十^と和^わ
華^か

なに…

地機仙
だ…?

そウ
仙人
作^しら
れた

いわば
仙人
ア
カ
い
モ
ノ

み
か
ら

気
に
せ
ず
に
戦
っ
て
い
よ

同
じ
く
ハ
腕^{うで}

バ
ラ
ル
の
地
機
仙
ヨ

そ
う
か
よ

望
み
ど
お
り
に
し
て
や
ら
あ



光雀と
嵐武の
最強攻撃を
……



見
て
の
ト
お
り
ヨ

熱
機
人
ご
と
き
で
お
違
い
ハ
勝
て
ナ
い

ソ
ろ
ソ
ろ
出
て
き
た
ウ
カ
ナ
ラ

龍虎王

!!

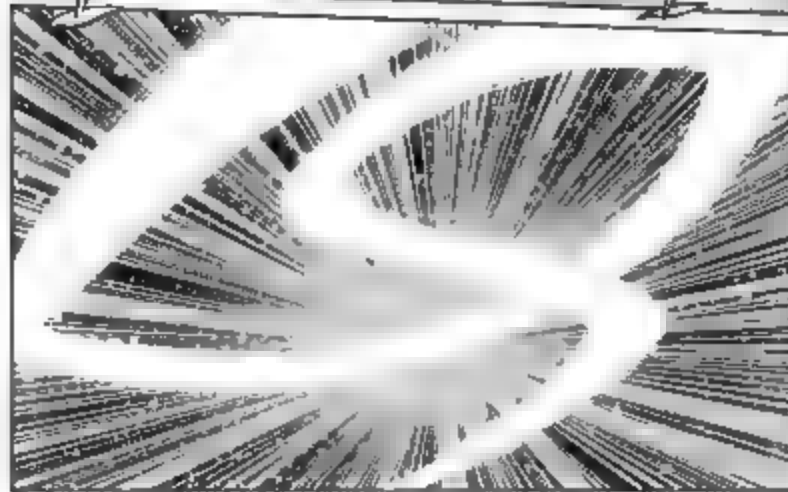
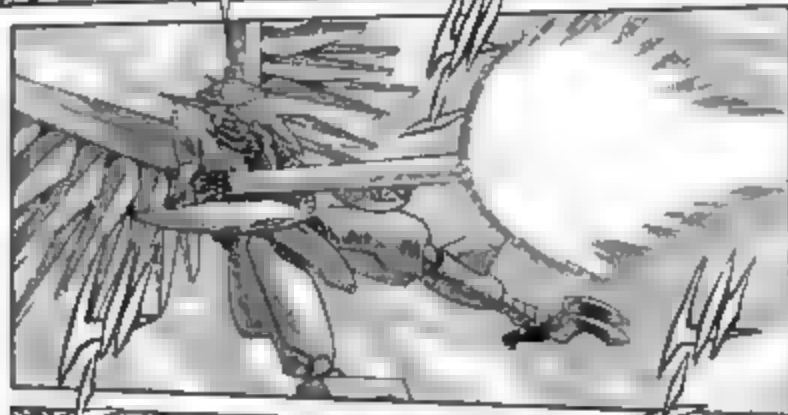


龍虎王
...!?

あの
お宝を
分捕りに
来やがっ
たのか...?

出て
来ない
なラ

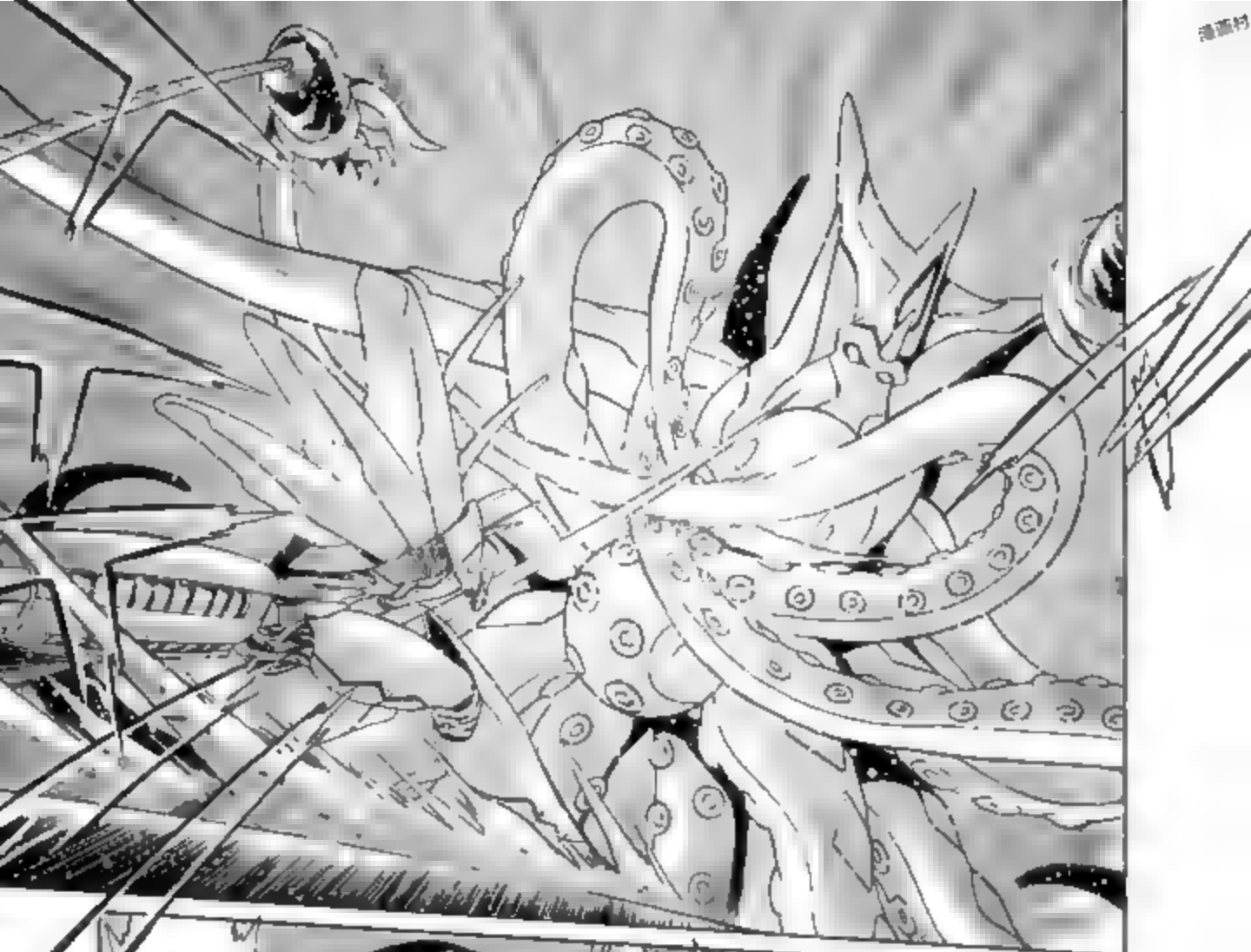
こナラカラ





大爆発

ア



野郎



あの一刀を
受け止める
なんて……



いっしょ



超機人に
進化させ

“王”の称号ヲ
得ルのヨ

あア、
すハ、レ、ヲ、
十華

僕ハ、
命ハ、
君の望ミヲ
カナエテミセル



話ハ
ココまで

龍虎王ヲ
いたダクわ





ゴブト
い
て
ね

まだ
動
け
な
か
い



当たり
前だ……

こいつを
選
す
わ
け
に
は
い
か
な
い
ん
だ
よ

父様と
母様の
仇を討
つ
た
め
に
ね
……



ク
た
ら
な
い
生
き
方
ネ

ソ
ン
な
後
ろ
向
き
な
理
由
で

和
達
の
夢
ヲ







だみ

れエええっ!!

き...

氣動砲
が...

ぬ...

ふに...

飛龍!!

やめろ



気動砲は
使うな

まだ
その時では
ない

……
?

……
はと

ありがトオ
艦長さん

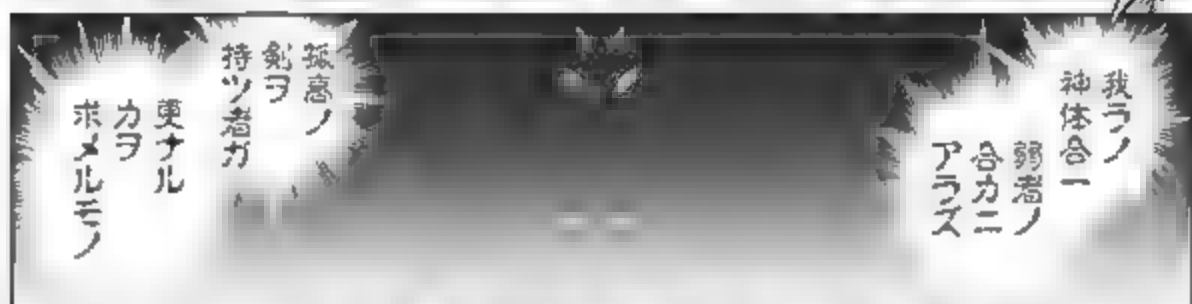
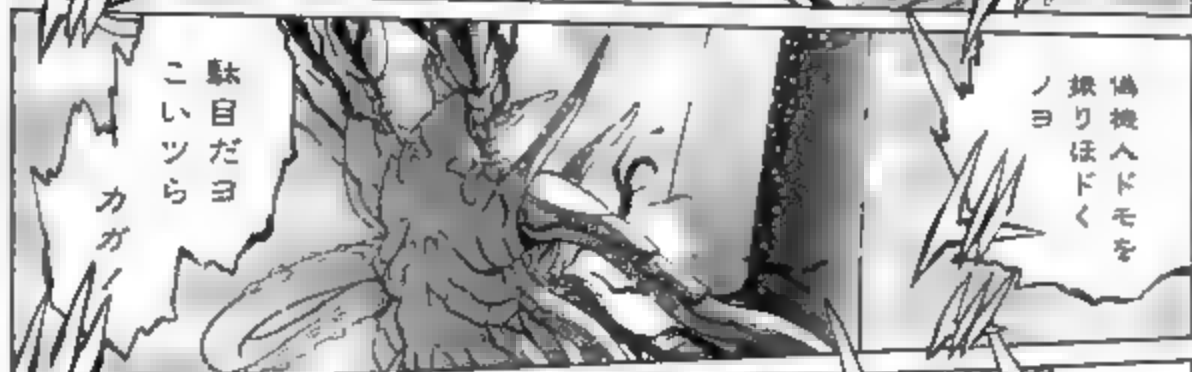
スキ
あり //

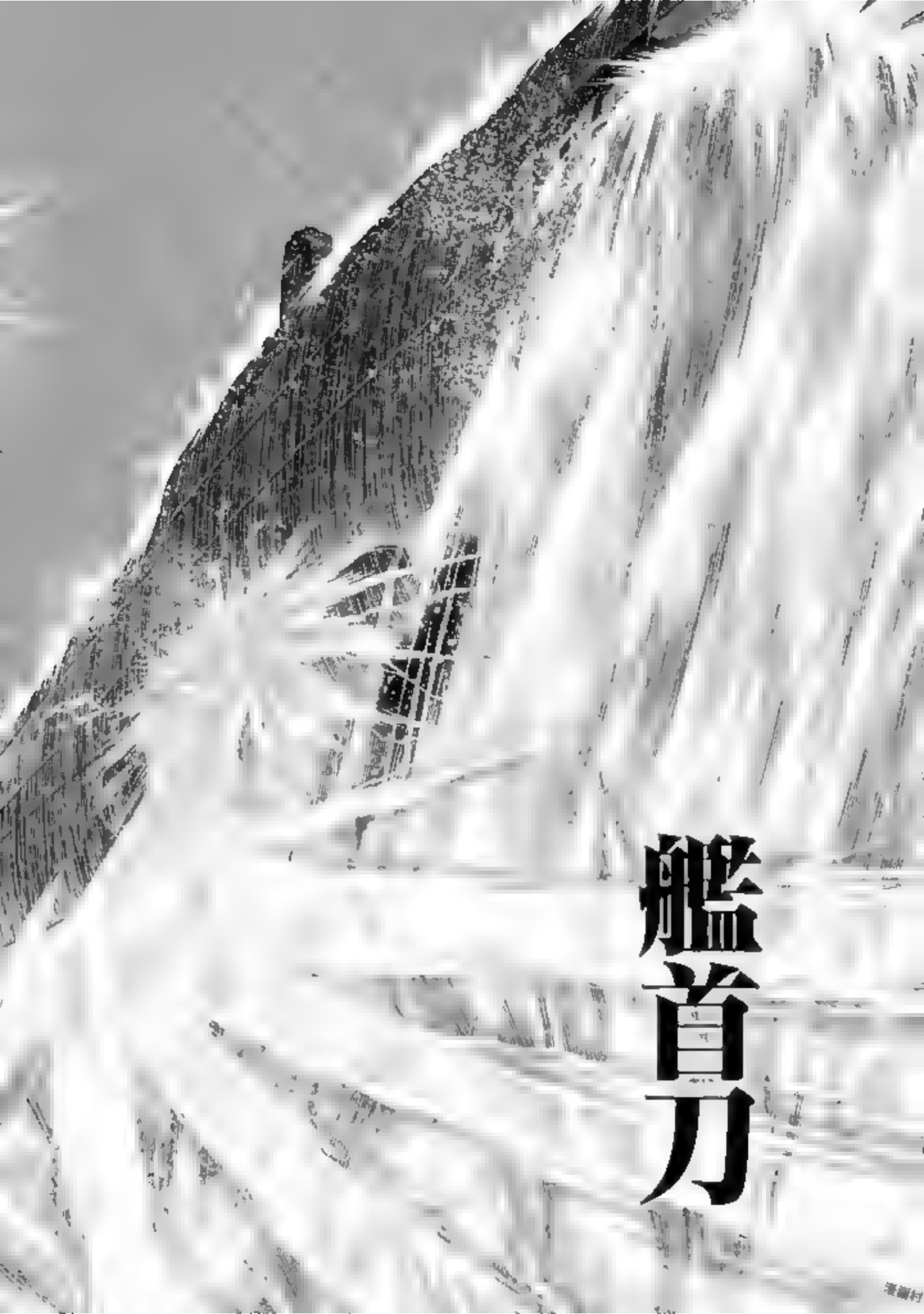
……
!?



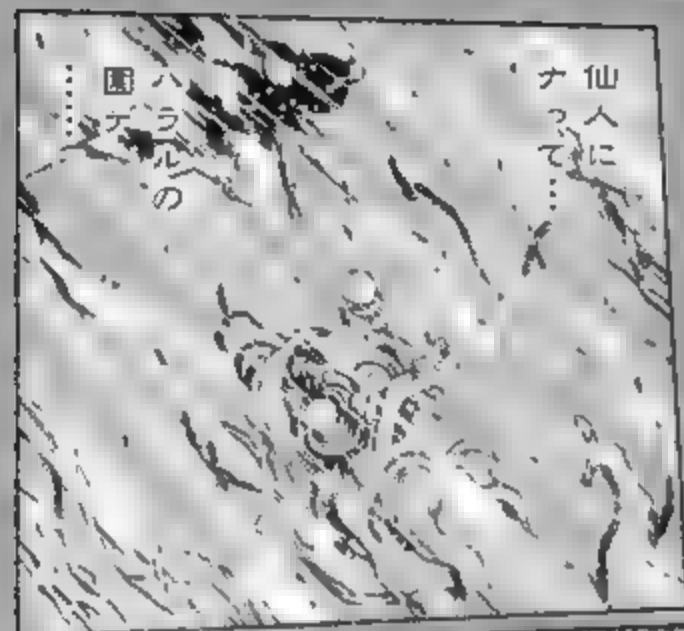








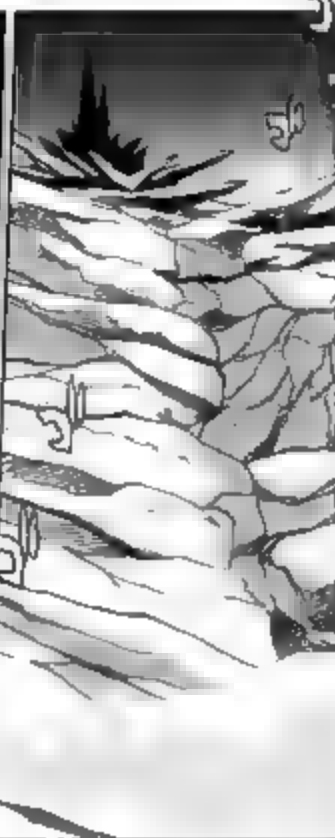
艦首刀



一刀
両断!!!

そう……
魁龍に

断てぬ物
無し……



申し訳
ございませぬ
光徳様
……

あの二人が
出過ぎた
真似を
……

いやあ
よくやって
くれたよ

おかげで
連中は
手札を
ほとんど
さらして
くれた

それに
あわよくば
君だって

彼らの
「仙人化」に
乗っかろうと
思ったん
だろ？

は……
それは
……！

ホ・ホ・ホ
隠さずとも
よい

偽魂の者が
真化を望む……
それも善哉
ぜんざい

あ……

貴方は
……！

お早う
御老体

よく
眠れたかな

つむ

時に
此度は
光龍と呼べば
よいのか？

ああ

一番
気に入って
いるからね

さつそくで
悪いが
仕事を頼むよ

残っている
四凶と
四罪の
うち……

好きな奴を
連れて
行ってくれ

いよいよ



決着の
時だ



九龍^{かんぷろ}
では

行って
参る



ああ
臺北

いつも
すまない
ねえ

僕に
この傷が
無ければ

靈龜^{りゅうき}皇^みの
制御に
ここまで力を
取られることも
ないんだけど



なんだい

ノリが
悪いねえ

いや
……



全ては
流れの
ままに

ご老体は
何でも
それだね

まあ
いいや

彼らを
襲うのは

激流だ
けどね





第二部 第六話
『四罪猛攻』

龍虎王の

——また
取りに
つきました

元々
完全な
復活では
ありません
でしたから
……

……
そうか

……
応えは
無かった

……
やはりもう
俺では……

……そのための
飛躍
でしょう……

……
様子は
どうだ

……
優しいん
ですのね

……
……

……
わかつて
いる

忘れては
いない

俺達の
使命を
……



—雷虎は
まだかかるか
……

ええ
けっこう
やられ
ましたし

それにもう
そろそろ
ガタが
来てる頃
ですよ

わかった
：続けて
頼むよ

はい！



—最終
点検
よし！

光雀
整備
完了！

嵐武も
完了
です！

轟龍の方は
どうだい

男爵！





先の
妖機人化
…本体は
そうでも
ないんですが
気動砲まわりが
かなり変化
しましてね

設計時の
想定より
かなり上の
威力を
出せそう
ですが

この
武器さ

デコの言ってた
お宝ってやつと
関係
あるのかい

そのかわり
機体が
保ちません

たぶん
一発しか
射てない
でしょう

飛
艦
…
わかるのか

ああ
…魁龍が
飛び上がった
時にね

艦の中に
もの凄
い力を持
った
何かを
感じた

むう…

その力が
……

轟龍から
こいつに
入った力と
同じだった
からさ

…そう

この
気動砲は

艦内にいる
宝のための
もの

僕達の
悲願を
かなえる

最後の
切り札
なんだ



飛龍
…?

これ
は…

敵襲!!

総員
対妖機人
戦闘配置

鋼機人
発進せよ

…違い
…ます

フオンホン
ホン

これは
…妖機人
じゃない

そう…
これこそ

四罪の一

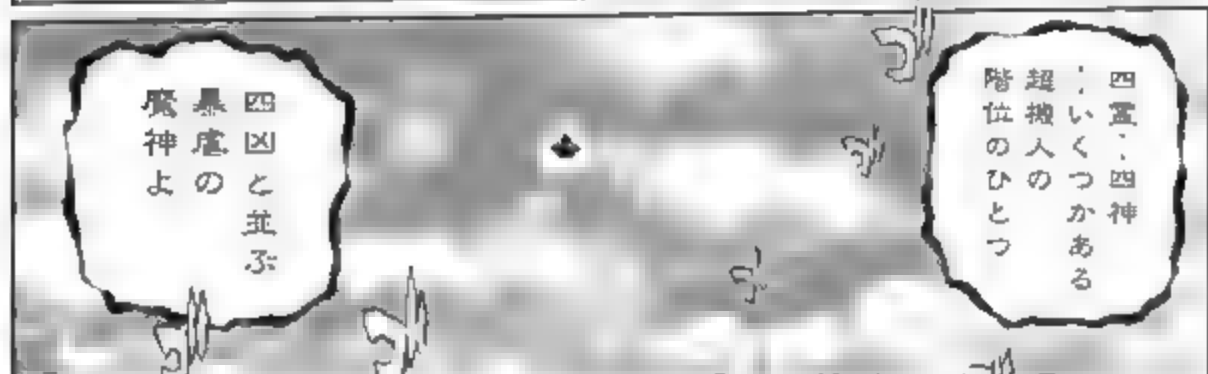
鯨玉!!!





四罪
だと...

何だ
そりゃあ
.....



四重、四神
、いくつかある
超機人の
階位のひとつ

四凶と並ぶ
暴虐の
魔神よ



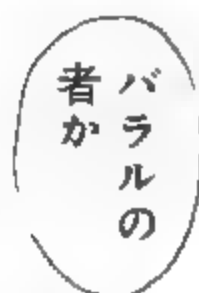
魁龍の長

お主は
存じて
おるう



あれは
.....

人が
.....浮いて
いる.....?



バラルの
者か

.....

さよう

バラルに座する
四仙が一

北仙の
泰北!!



バラルの
四仙...

そろそろ
互いに
刈り入れ時で
あるっ

大へしく
我らに
下れば
生命の保証は
する

大幹部が
出てきた
のか...

よかろう

ほ



貴様らが
人界への
介入を
あきらめ

わしは
かまわぬが
：尤龍が
聞かぬ
だるうな

—では
伝えろ

？

—お互い
命^{いのち}真^{まこと}加^かに
生き延びた
ようだが

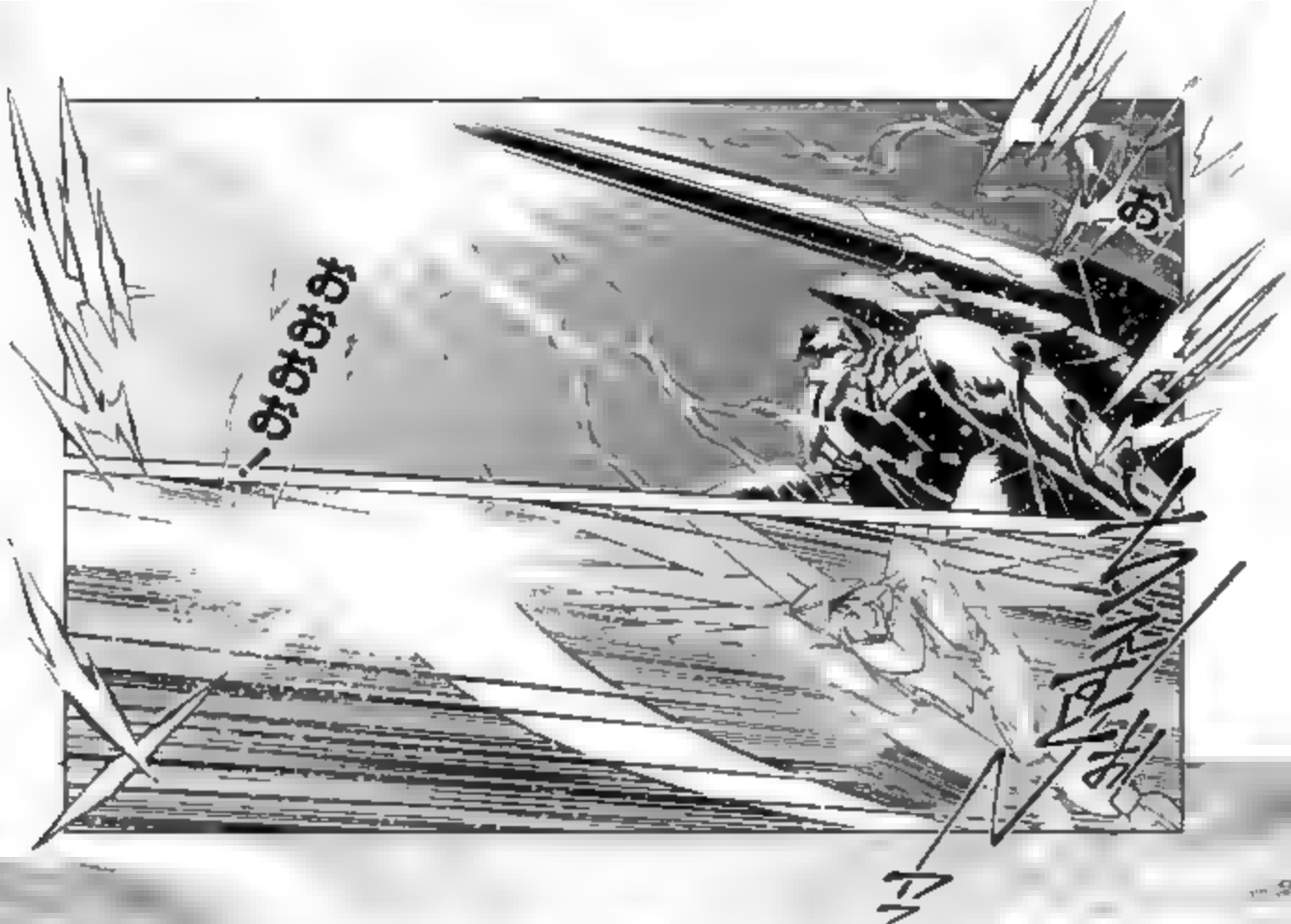
今度こそ
その首
叩き落として
やるとな

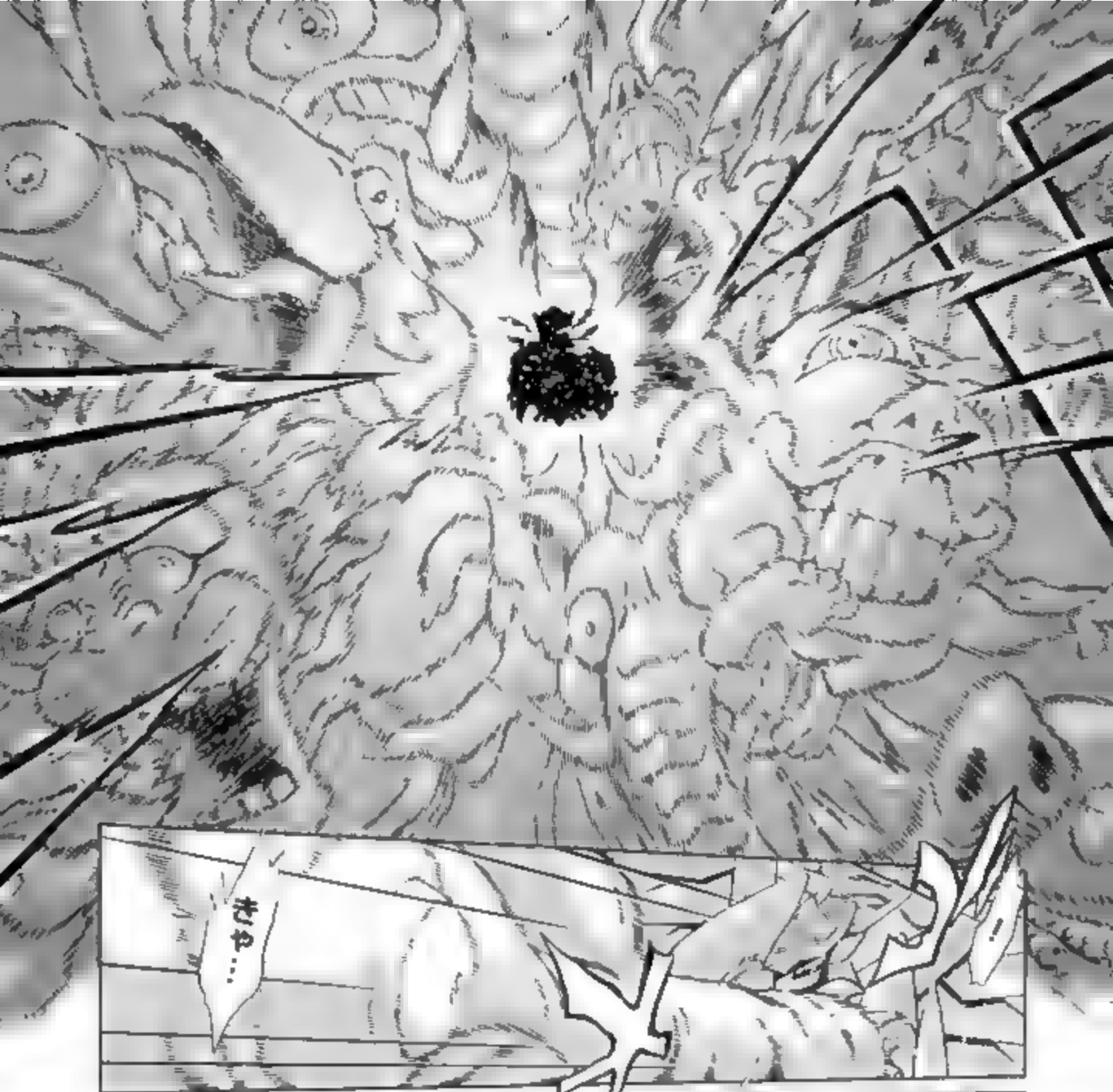
交渉
決裂か

ふむ

己が結界に
永遠に
引きこもるの
ならな

それモ
善哉^{ぜんざい}







こ…
これは

鋼機人を
食べている

…!?

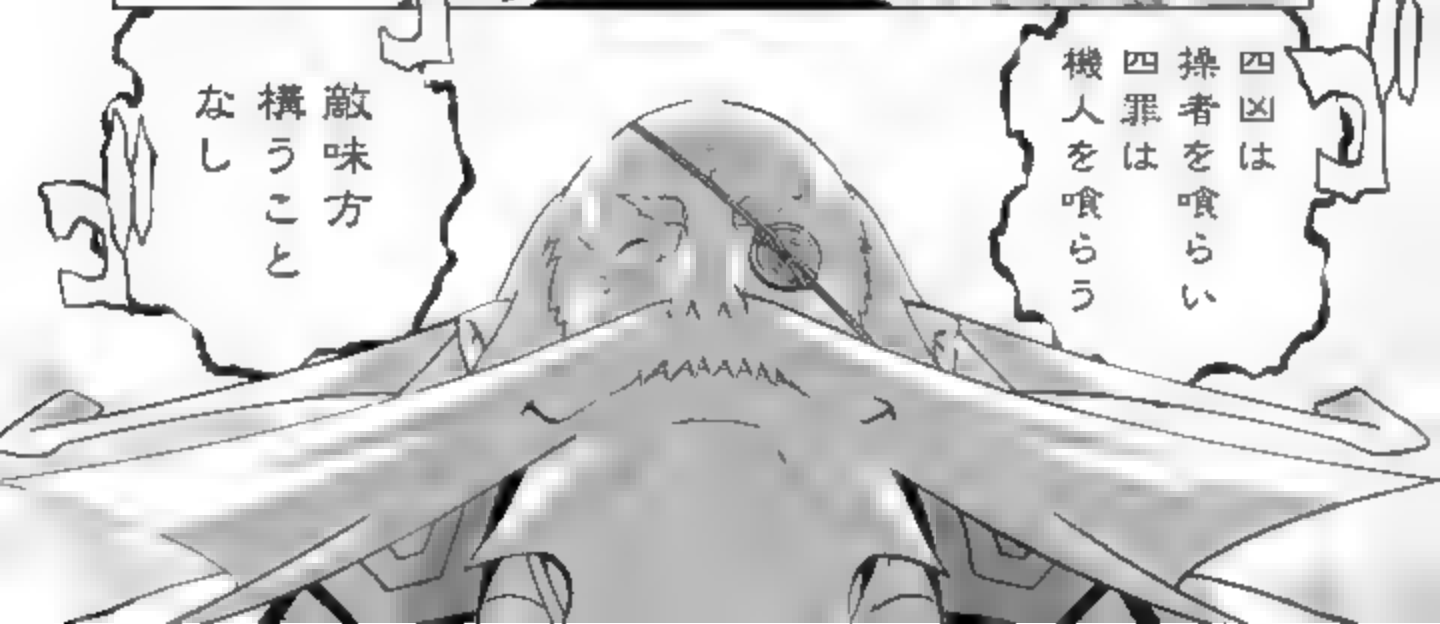


故に
一体ずつしか
出せぬのしや

それが四凶と
同じく四罪が
暴虐の超機人
と呼ばれる所
で、う

四凶は
操者を喰らい
四罪は
機人を喰らう

敵味方
構うこと
なし





なに:

艦長さんが
だめだっ
つってんなら
従うのが
下っぱって
もんだよ

それに
エドが
言っただ
ろうが
そいつは
俺達の
悲願のため
の切り札だ
っつってな

そいつを失って
生き残っても
しょうが
ねえんだよ

生き残るのが
目的なん
だったら

最初っから
こんなもんには
乗らねえんだよ!

デコ

安心しな
小娘:

今使う
切り札は

俺が
持つてらあ
!!



妖魔人化

けど
時間は
まだ…

それに
前より

はるかに
変化が
…

ほほほほ

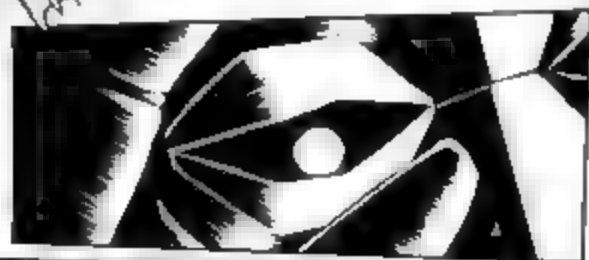
最高
だぜエ

好きこそ
物の上手
なれつて
なあ

自力で
できるように
なったの？







うーん

う





ら…

嵐武の
妖機人化が

魁龍にも
……

機関
全開!!

艦首刀
刺突!!





変形して
突きを
止めた…

なんて
力

このままじゃ
防がれ…









カッ

デ...



俺の

願いは

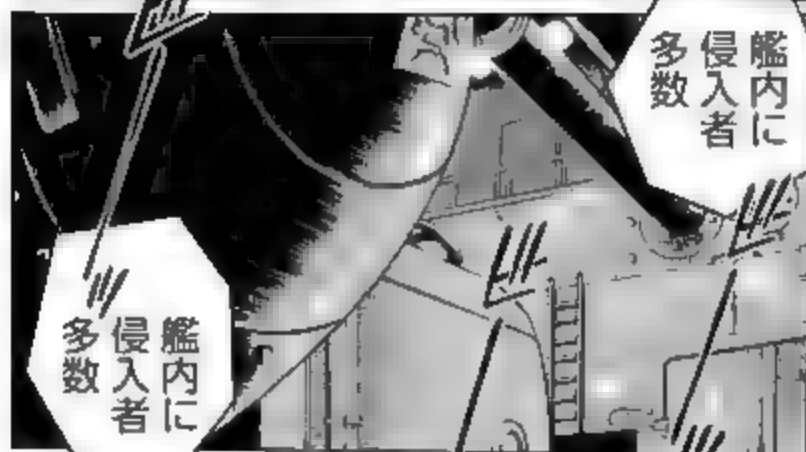
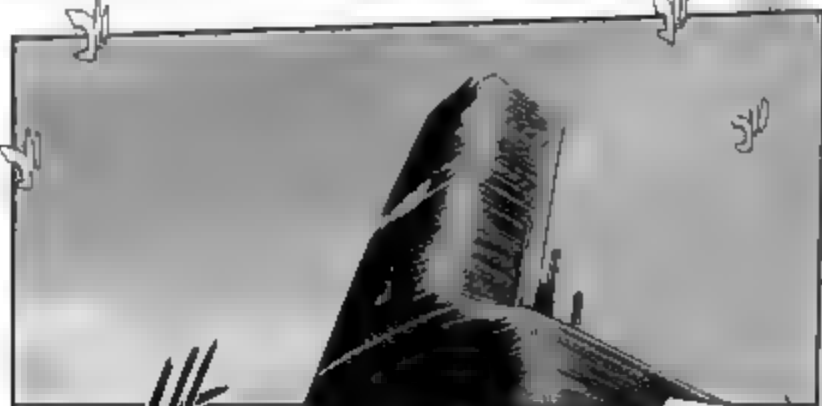
デコ





続けて

参るぞ



艦内に
侵入者
多数

艦内に
侵入者
多数



総員
警戒せよ



無事
転移
できました

これも
巫女の結界が
ゆるんだ
おかげ
ですねえ



共王!!!

四罪の一

第二部 第六話 完



艦内に
侵入者多数

敵は
小機人の
部隊です

左舷後方
三〇〇

超機人
出現!!

雷虎
発進準備
よし!!



総員

白兵戦
用意!!

雷虎
発進せよ!!

第二部 第七話

『龍虎復活』









涼夜… 艦龍に
飛龍 多くの
小機人が
侵入した
君達は戻って
奴らを
排除してくれ！



けど…
雷虎
だけじゃ
勝てないよ！



御武運を



健闘を
祈る



そうです
男爵！

私達も

だめだ！

轟龍も
光雀もすでに
限界まで
動いている

下手に
妖機人化
されたら
どうにも
ならない

だから
君達は
僕達の
希望を



動かすんだ!!

龍虎王を



龍虎王

……?

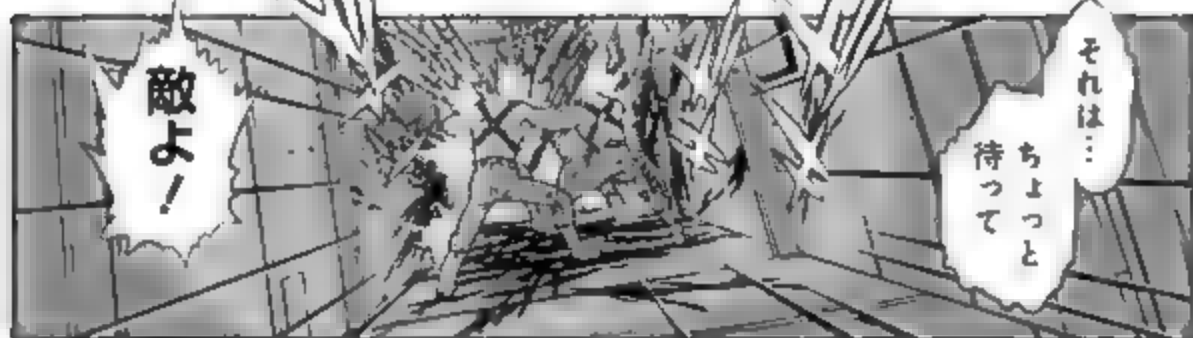
それって



超
機
人
!!

四
罪
の





敵よ！

それは……
ちよつと
待って



あいつら……

上海での……



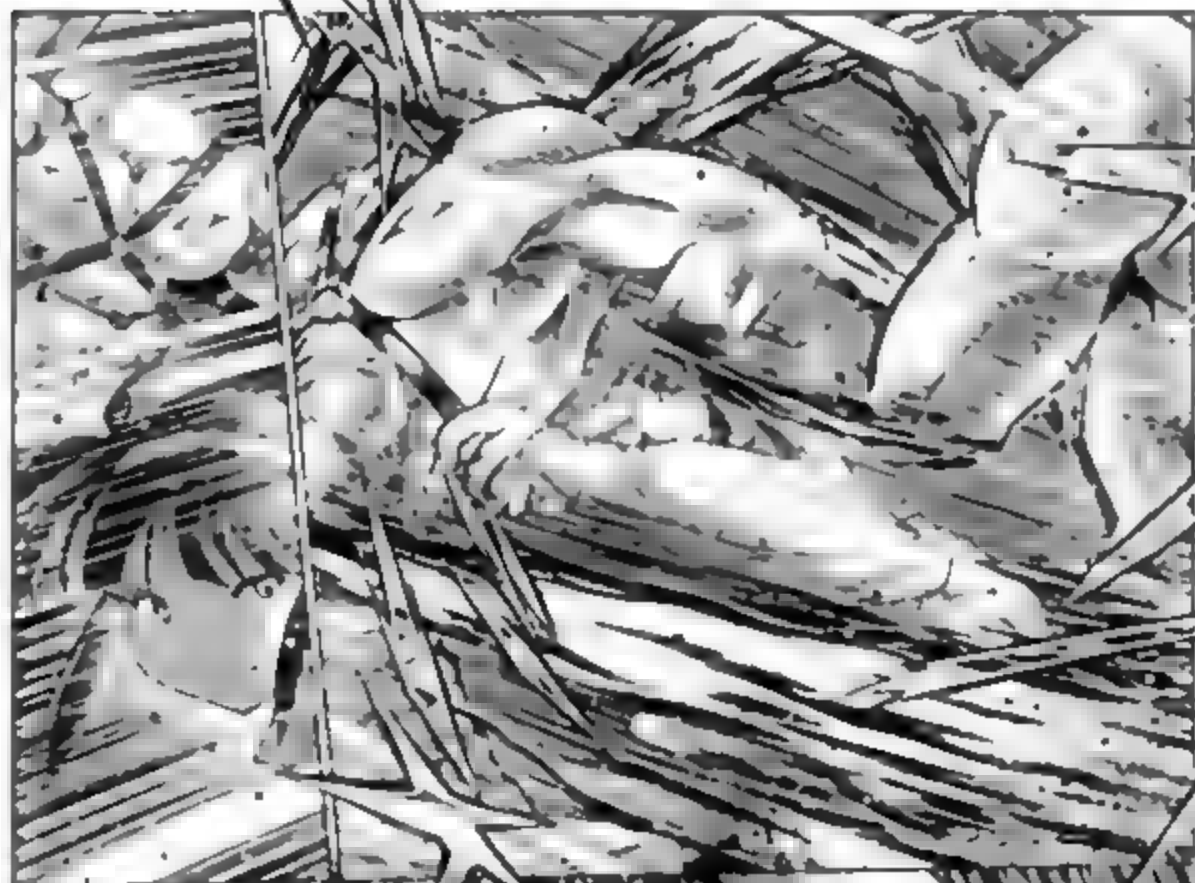
私が行く……

討ちもらしを
任せるわ！

え……



ちよつと
待って



涼夜

それと
飛脚か。

桂馬さん、

助かったぜ

だがすまん
…何人かに
突破された

美囃が
危ない…!

……
男爵の
指示です

龍虎王を
動かせ、と

いよいよか
……!

ここは
任せろ

二人は
下に
行ってくれ!

けど
三人だけで
大丈夫
かい!!

ち…

また
来やがった

ふっ…

稲郷の男は
しぶといのが
取り柄でな

……
キミだけじゃ
ないぜ

ブラン
シュタインの

グリムズの
誇りにかけて

ここは
通さん!!!

行くわよ
飛龍!!

.....
わかった!

主機炉に
敵が
入ってる
.....

気を
つけて!



…… 艦長

…… すごい
…… 一人で
…… こんなに



ふふ…
さすが
ですね

まさに
鬼だ
もつとも



そうで
なくて

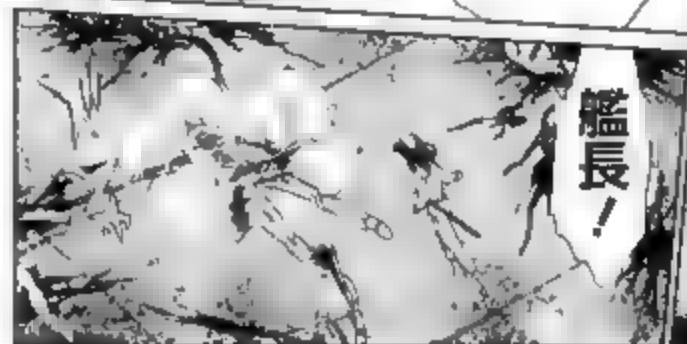
煙や
…孫娘までも
戦いに
巻き込もうとは
しないでしょ
うから

稻郷 隆馬 どの

龍馬つて
 五五五五

あんだ

易





しっかり
してくだ



…やっばり
あんたは…

え…
じゃあ…



虎太郎
叔父様
…この
子供達
は…？

あたしの
父様と
…母様の
子供の頃…



かつて
大陸に赴き
魔神を
目覚めさせ

そう
稲郷
隆馬
大日本帝国
陸軍大尉

あなたの
村と

あなたの
父母に

大いなる
凶運を
もたらした
男ですよ





—やめなさい
飛騨

この人
は…



襦袢の
恨み
晴らすが
良いでしょう
//



く…



ほほほほ

さよう

あなたが
憎み続けた
あなたの
祖父





なんて
力だ……

壁で水を
ムチのように
束ねて

だがこの
超能力
その気なら
制御ごと
こちらを制御
できるはず

中の方か
龍虎王を
確保するのを
助けているのか

ならば

その前
に……!

男爵!

大丈夫か!

……いい返事が
できないのが
辛いな

魁龍の 覚悟は
傷は できて
気にするな
いるよ!

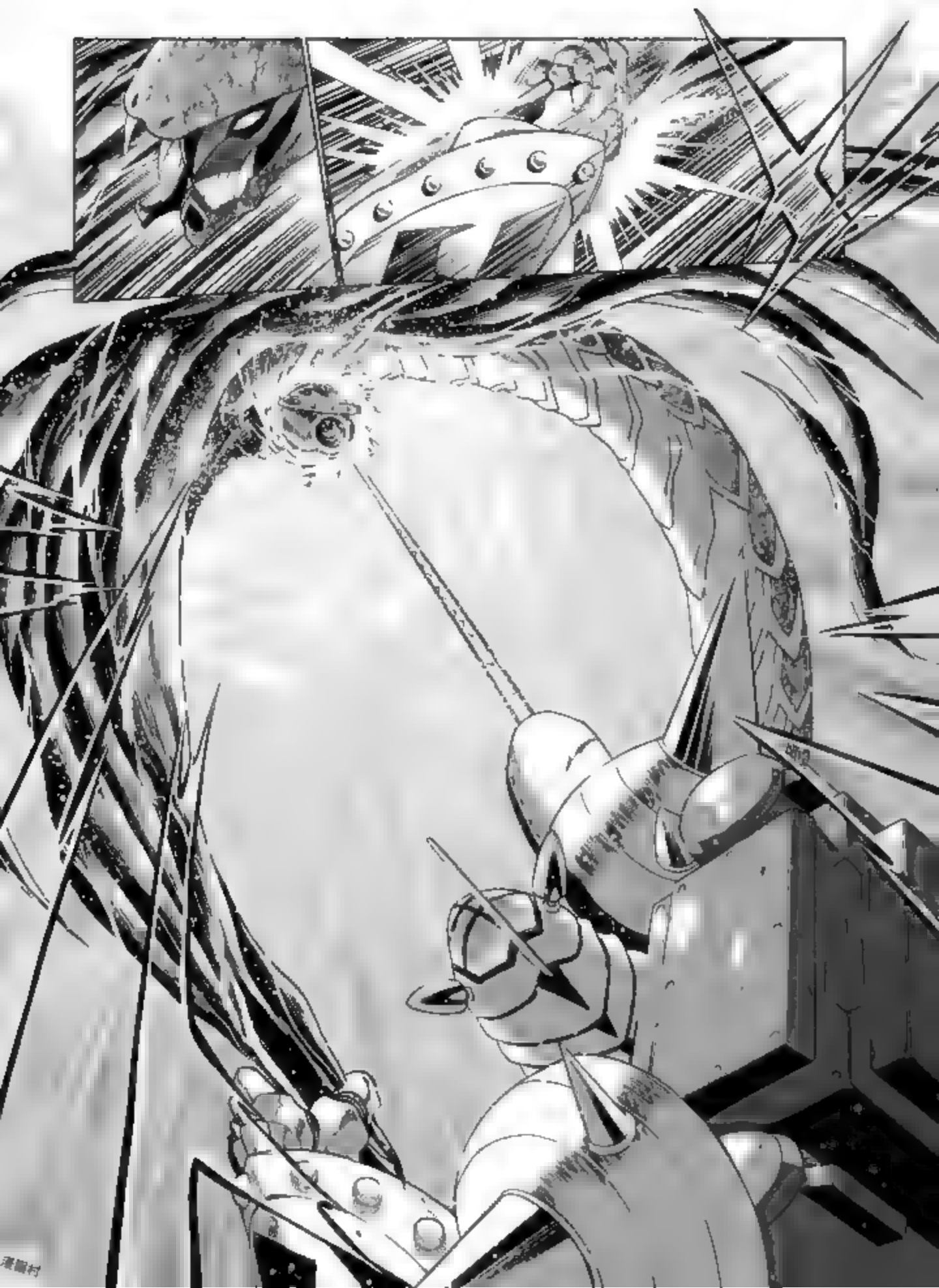
わかった
……
助かるよ!

だろうね

よし……

来いっ!









ふふ

此工王め
然り狂って
おるわい

あの虎を
構した者
と偽機人
とはいえ
歴戦の氣を
まとい
あつた故

大いに
楽しんで
なすつて
喰らうつもりが
思わぬ反撃を
受けたの
じゃからな

だが

これで

あの者の
命は



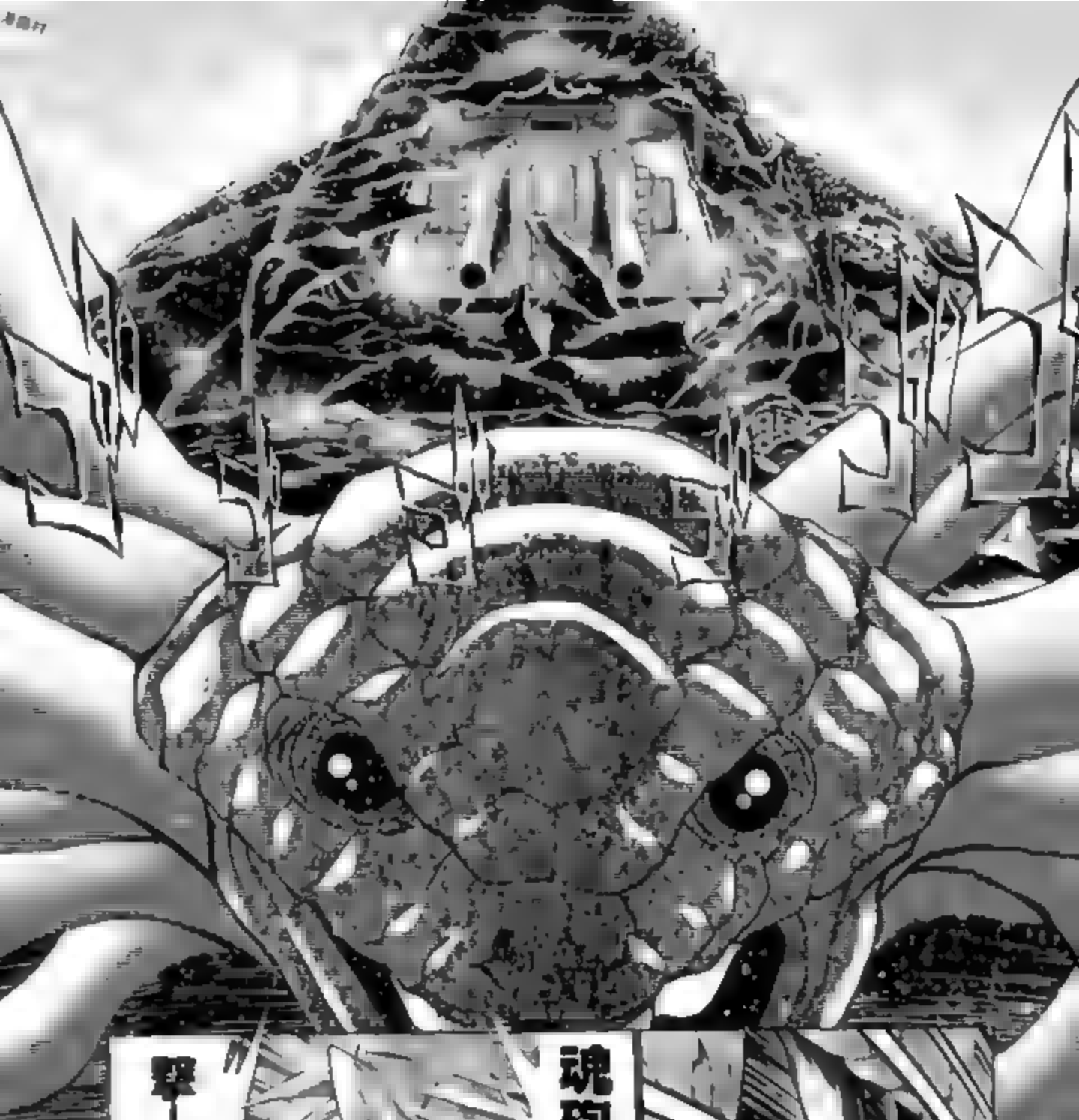


じりり
終わり

——待たせたね
クラウス

派手に
頼むよ

了解だ





魂砲弾の
呪縛撃に
耐えている
……

次弾装填
急げっ！

だめだ
.....

間に
合わ.....

必殺!!!



暴虎 乱撃

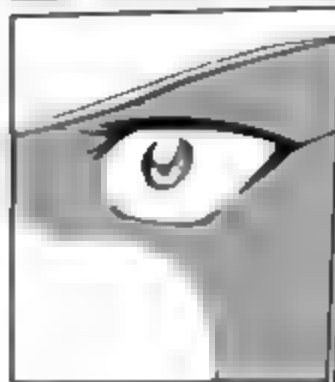
!!!

…装填
よし!

かわせよ
男爵…

撃

っ!



まほう
 王の
 断髪を見切り
 船の皮のみを
 断らせ
 大砲の前に
 誘い込んだか
 見事な
 ものよ
 だが



なんだ…
物凄い光が
頭に…



共工王が
奥義
不周山破

さて







ようやく
お目覚め
かい

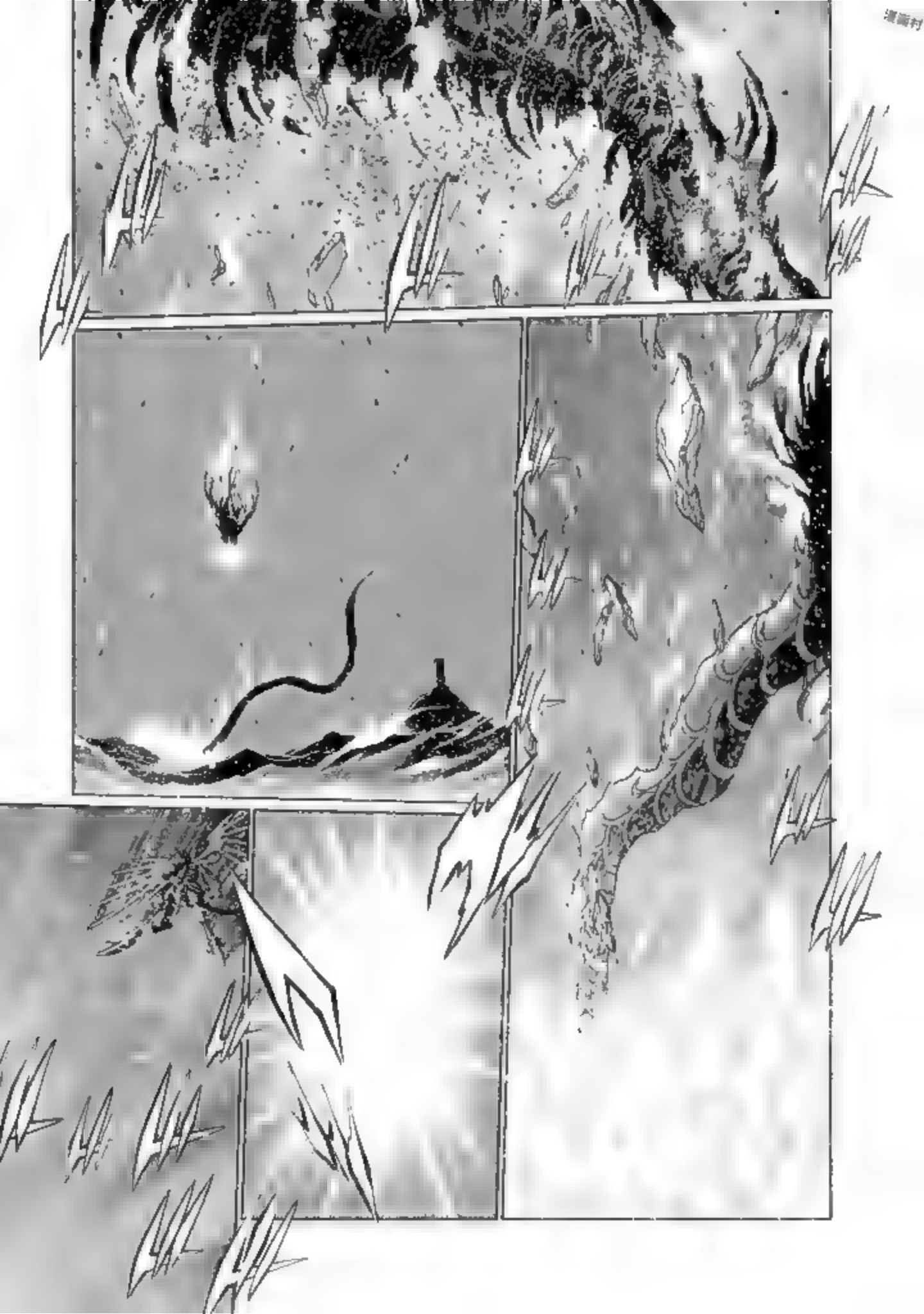
——これで
ようやく
役者が
そろったと
いうわけだ

ねえ

お早う

龍虎王

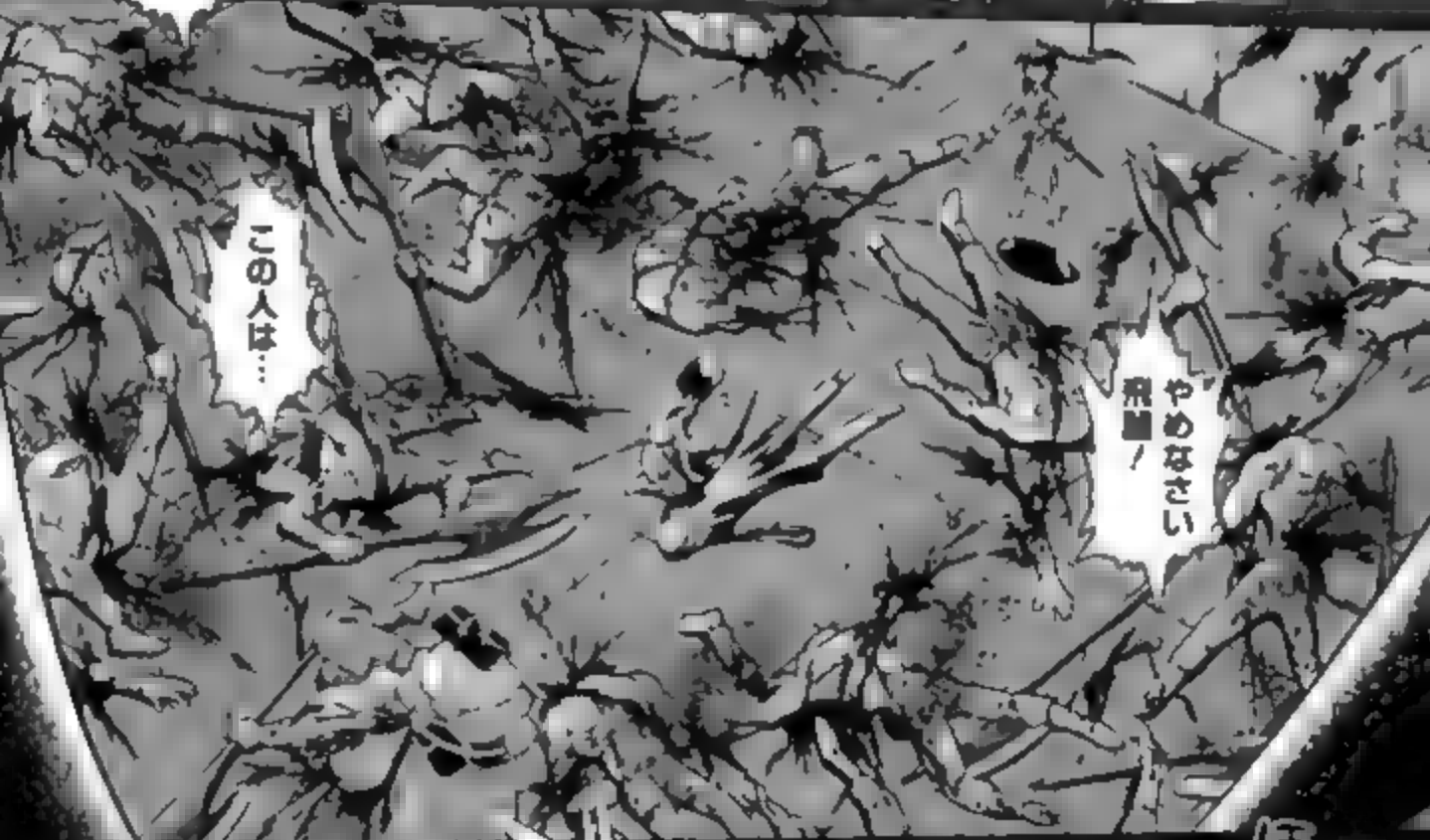
第二部 第七話 完





第三部 最終話

『靈龜決戰』





おのれっ！

…



仇を
教えてやった
厚も
わからぬとは

ほほ
悪かなり
小娘

遠かった
か…！

ち…

母様を殺し
村を焼いたのは
てめえら
だろうが！

ざけんじゃ
ねえ
ポケ

飛脚

勘違い
すんな

その
じじいは
後回しって
だけだ

ケリは
きつちり

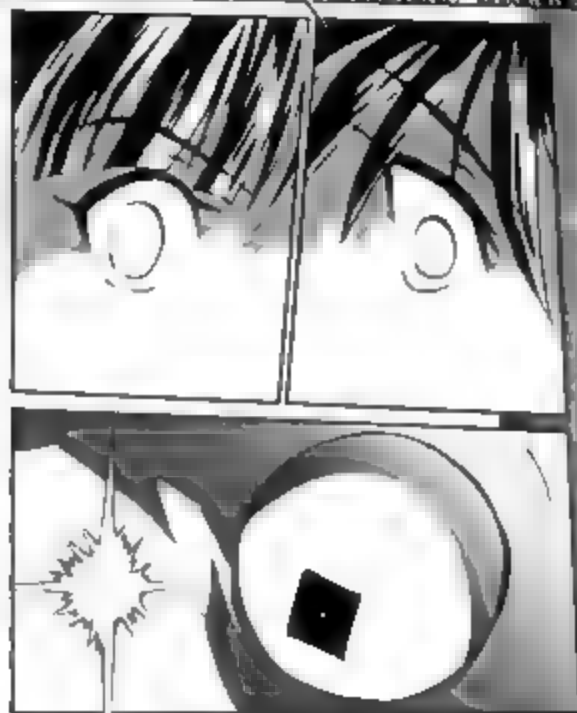
つけさせて
もらうぜ

ぬぬ
なんたる
正論

ならば
お相手
しましょう

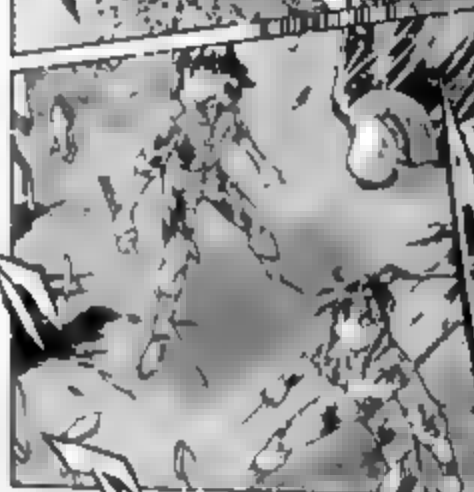
同志八房に
授かった
奥義

金剛身！！





な…



さあ…

乗りなさい
…この

龍虎王に



龍虎王…

これが
……

さあ…
急いで
……

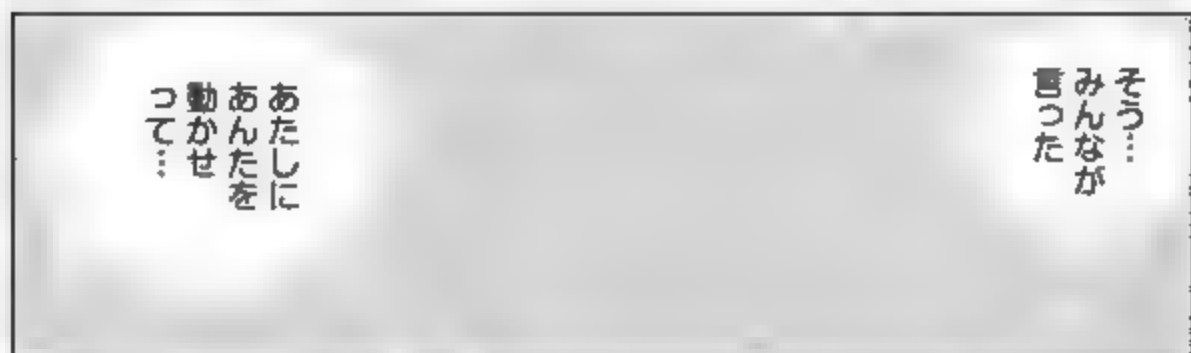
魁龍に
危機が
迫っています





言つたら
…ケリは
つけさせて
もらうって

勝手に
終わられて
たまるかよ



そう…
みんなが
言つた

あたしに
あんたを
動かせ
って…



できるか
どうか
わからない

けど
…やっ
てやる
うじや
ないか

全ての
ケリを
つけるために

行くぜ
龍虎王
……!!





まあ
ぜいたくは
言ってられ
ないか

できれば
もう少し
大人しく
出て
ほしかったな



やれやれ…



しゃが
ま手を負うた身
とはいえ共王を
四神の超機人て
帰るとはのう

ふむ
・龍虎王の
奪取は
仕損したが

覚醒は
叶ったのう
善哉 善哉

天晴れ
天晴れ

—次は

あんたの
番だぜ
じいさん

それも
一興しやが
此度の任は
前座と
わきまえて
おるでな

ここは
お主らを
待ち続けた者に
譲るが道理

ほ

であるう
光龍

役目
しかと
果たしたぞ

ああ…
御苦労
だったね
御老体

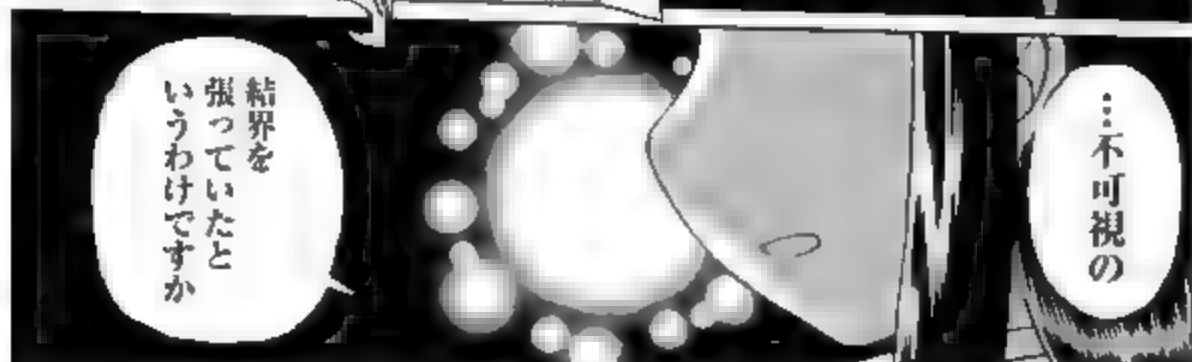
後は
任せて
くれたまえ

…な

なん…
だ…?







それにしても
懐かしい顔が
いるねえ

何年ぶり
だろう

ずいぶん
老けたんじや
ないかい？

稲郷
隆馬くん
……

だったよね？

：貴様は
変わらん

でかぶつに
乗って喜ぶ
虎の威を借る
狐だ

いやいや
：寄らば
大樹の影って
いうだろう？

なんなら
君も
乗って
みるかい？

この

四 霊 の



靈 龜 皇 に



…な…

なんだ
あれは…

大波が
来ます！

機関
全速！

艦首を
波に立てろ！

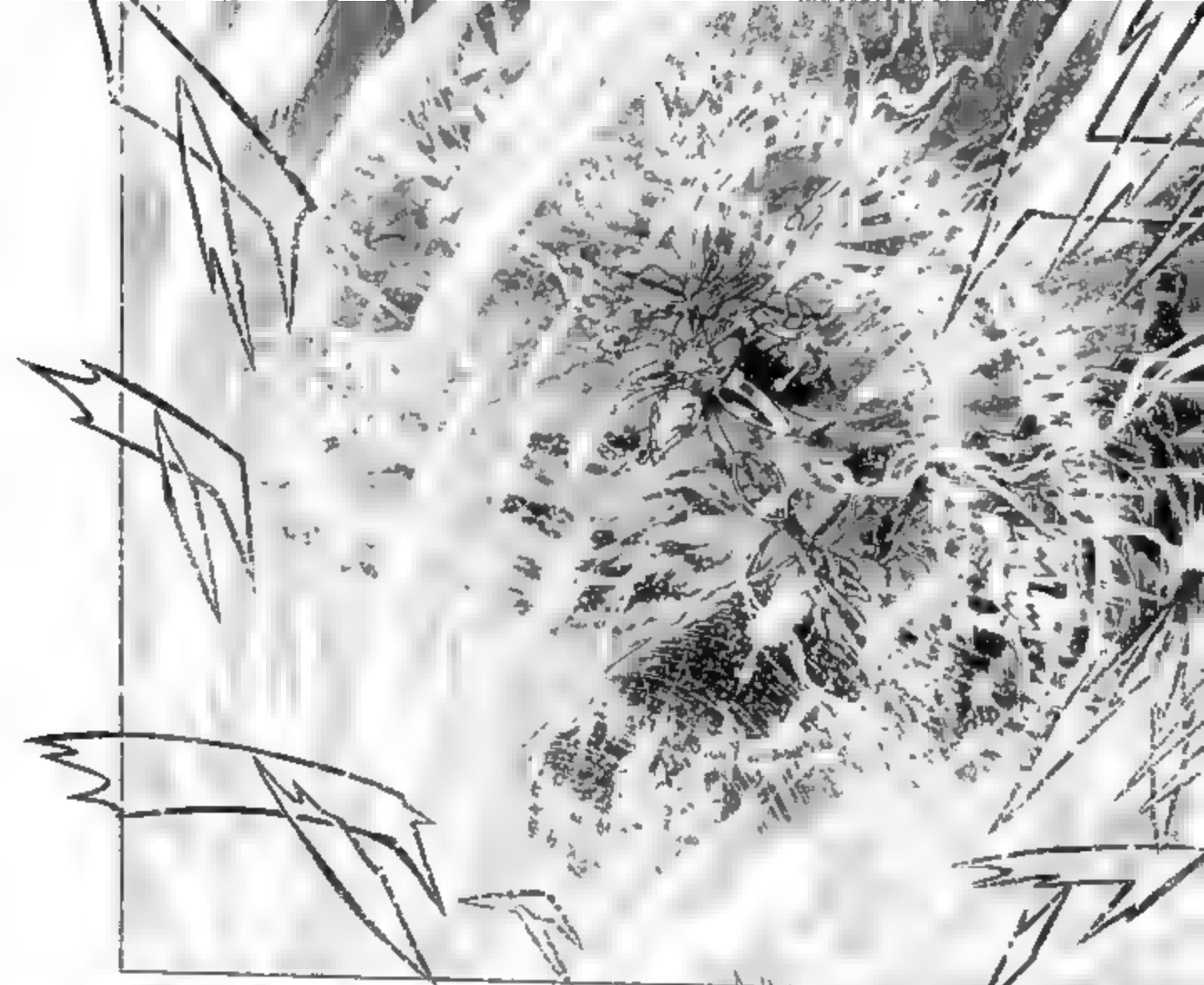
総員
衝撃に
備え！

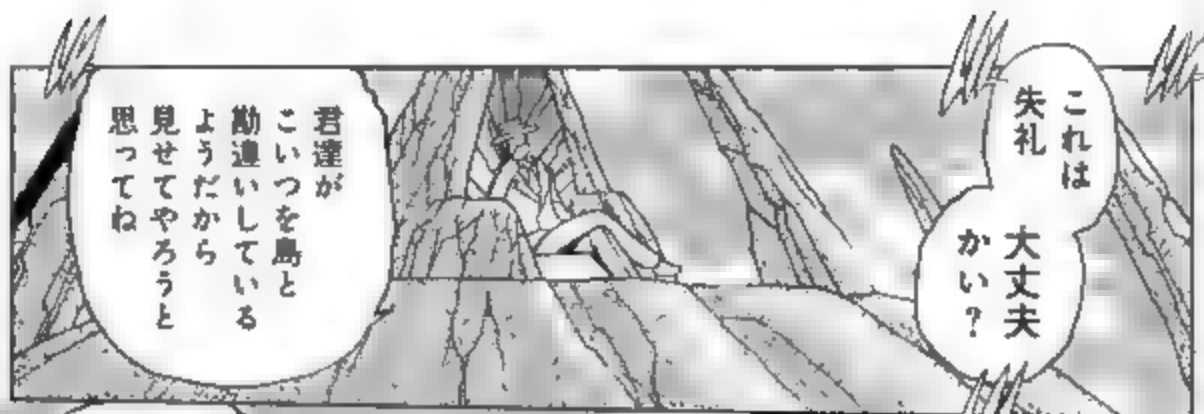
うおおー！

これ

は…!







これは
失礼
大丈夫
かい？

君達が
こいつを鳥と
勘違いしている
ようだから
見せてやろうと
思ってた



この

四霊の
超機人を
さ



し…

四霊の
超機人？



そう…
超機人には
いくつか
ランクが
あってね
君達が
さっき
連戦した
二体…

蘇王と
共工王は今
お休み中の
四凶
なんてのも
いる



そして
四霊は
最大最強の
四体

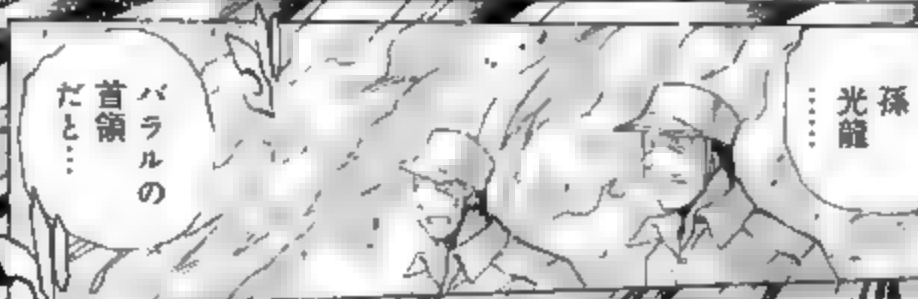
人界に
大いなる脅威を
もたらす
百邪の群れを
駆滅するための
機体だ

中でも
この
靈龜皇は

僕達の
木抛地の
バルの園へ
至る



バラルの門の 守護者だ





私達

みんなの
力です

素晴らしいね

まさにその
龍虎王は
君達に
ふさわしい
お宝って
わけだ





それで
この
無亀皇と

戦う
つもりかい



……
当たり前
じゃ
ねえか……



俺達は
家族の……
故郷の仇を
討つために……
バラルを
倒すために
ここまで
来た

今さら
そんなもん
に
ビビるかよ



そうだ
……諸君
力を
ふりしほれ

これが
我らの

最後の

戦いだ!!!

いいだろう
かかって
きたまえ

バトルの門を
開くには
こいつを
どうにか
するしか
ないんだからね

魂砲弾
装填!!

砲雷撃戦
用意!!!

祖父さんと
祖母さんの
こと:
昔の
戦いのこと

こいつに
乗って
わかった

それが
納得
できる
わけじゃ
ねえ

だけど!!

今は
戦う
だけだつ!!!

唱えよ
九天
応元
雷声普化
天尊

急々如律令!!

勅!!!

ち…

甲羅には
効かねえか

…
だったら

龍王

首を
ぶった切って
やるぜっ!!



!? 結界…

そんなもん
まとめて
ブチ割って
やるっ!

…!

だめ
…!

側を
止めて

// かわして

な…





海が
削られて
…!

……
これは…



あの結界に
当てた所が...

剣を
戻さなかったら
...!

そう
あらゆる存在を
防ぎ
あるいは
飲み込み
あるいは
消滅させる

それがこの
霊亀皇の
結界

森羅
万象甲

超機人
最強の
盾さ

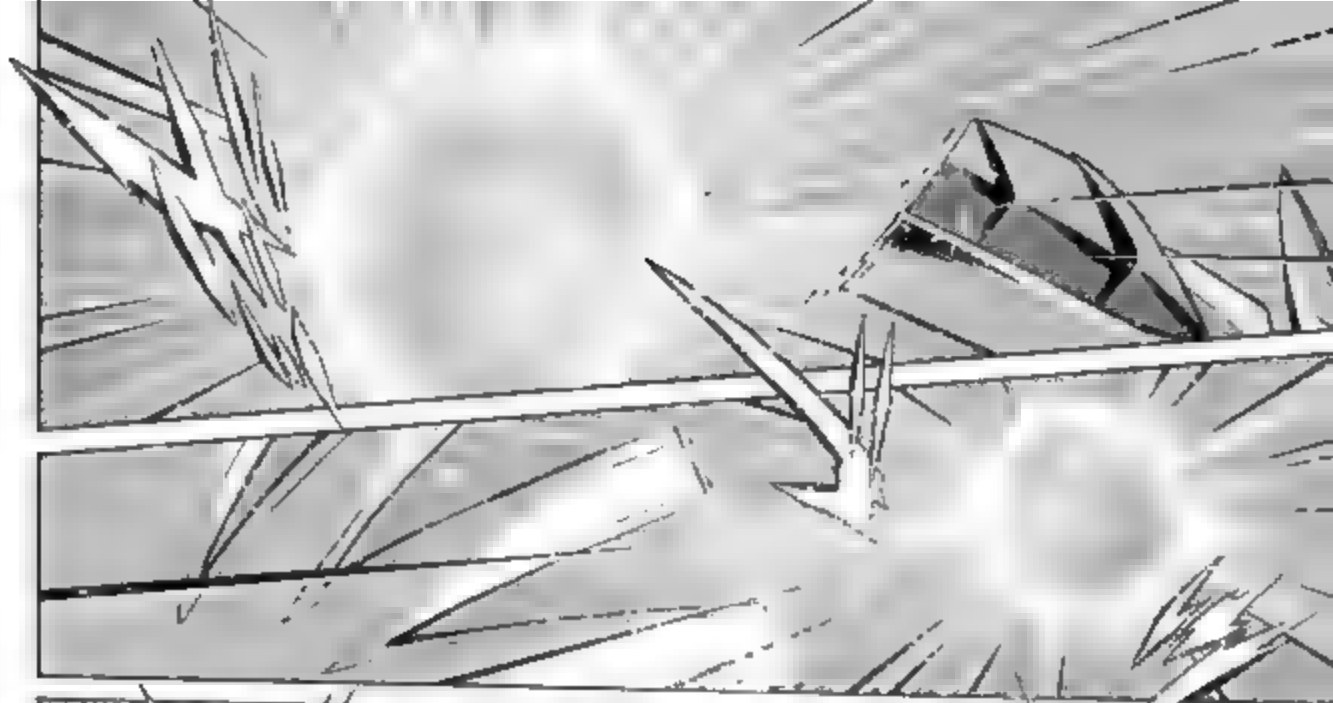
そして



最強の
盾は

最強の
牙となる

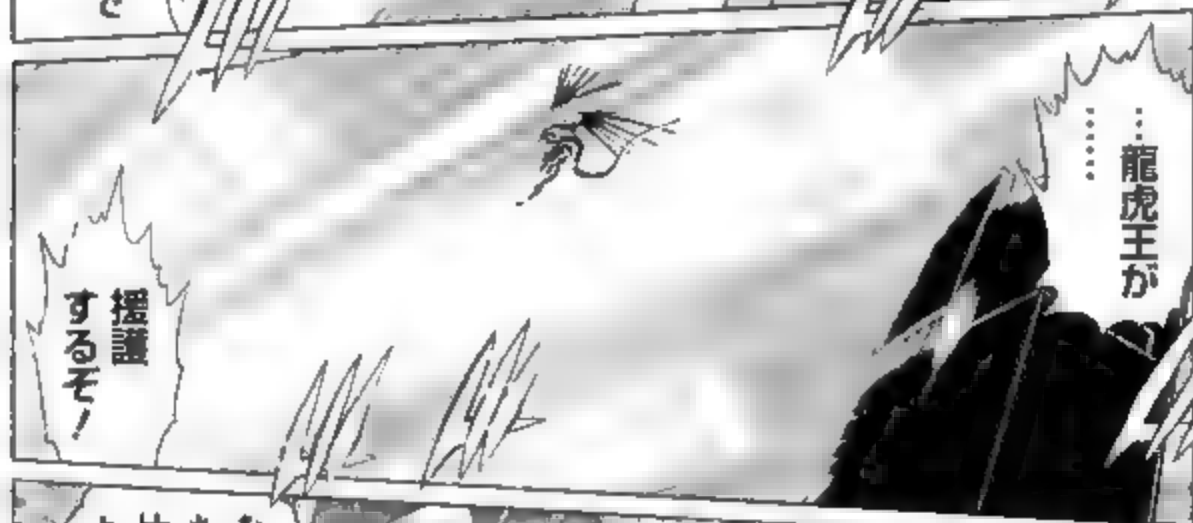




飛龍

だまっててくれっ！

カスっただけでヤベえ！



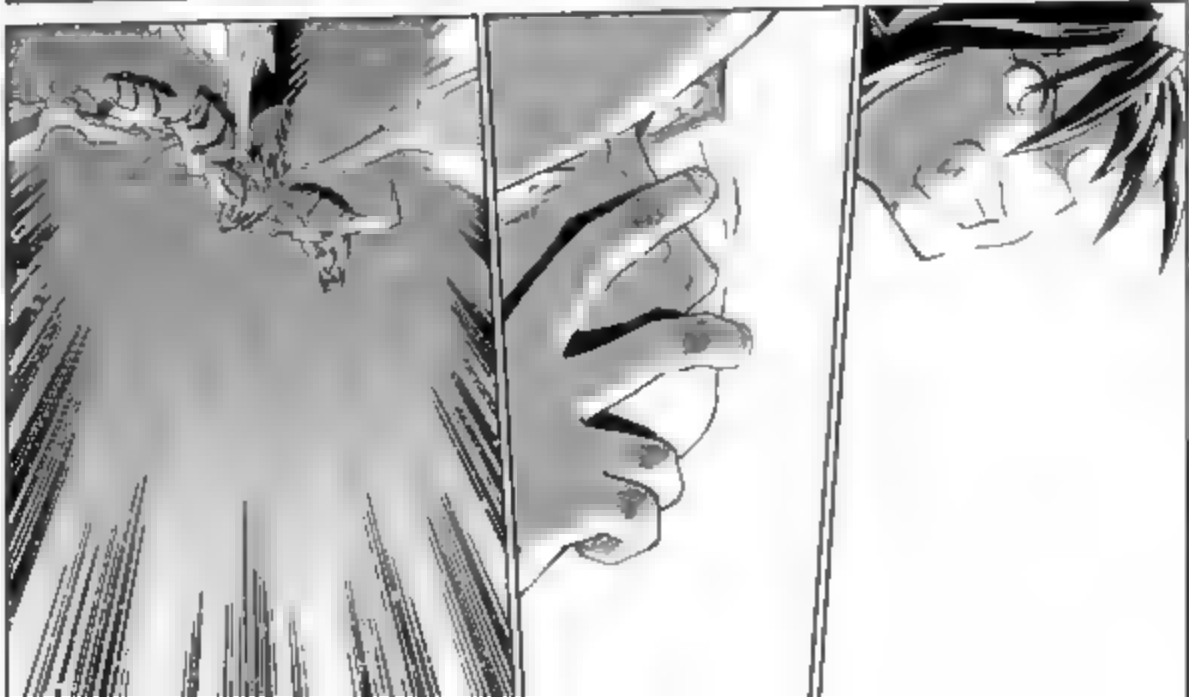
……龍虎王が

援護するぞ！



なかなか素早いね

ならまずあちらから片づけようか





ほう
…森羅
万象甲を
防ぐとは…

ひょつとして
…またかな

あの時は
雀武王

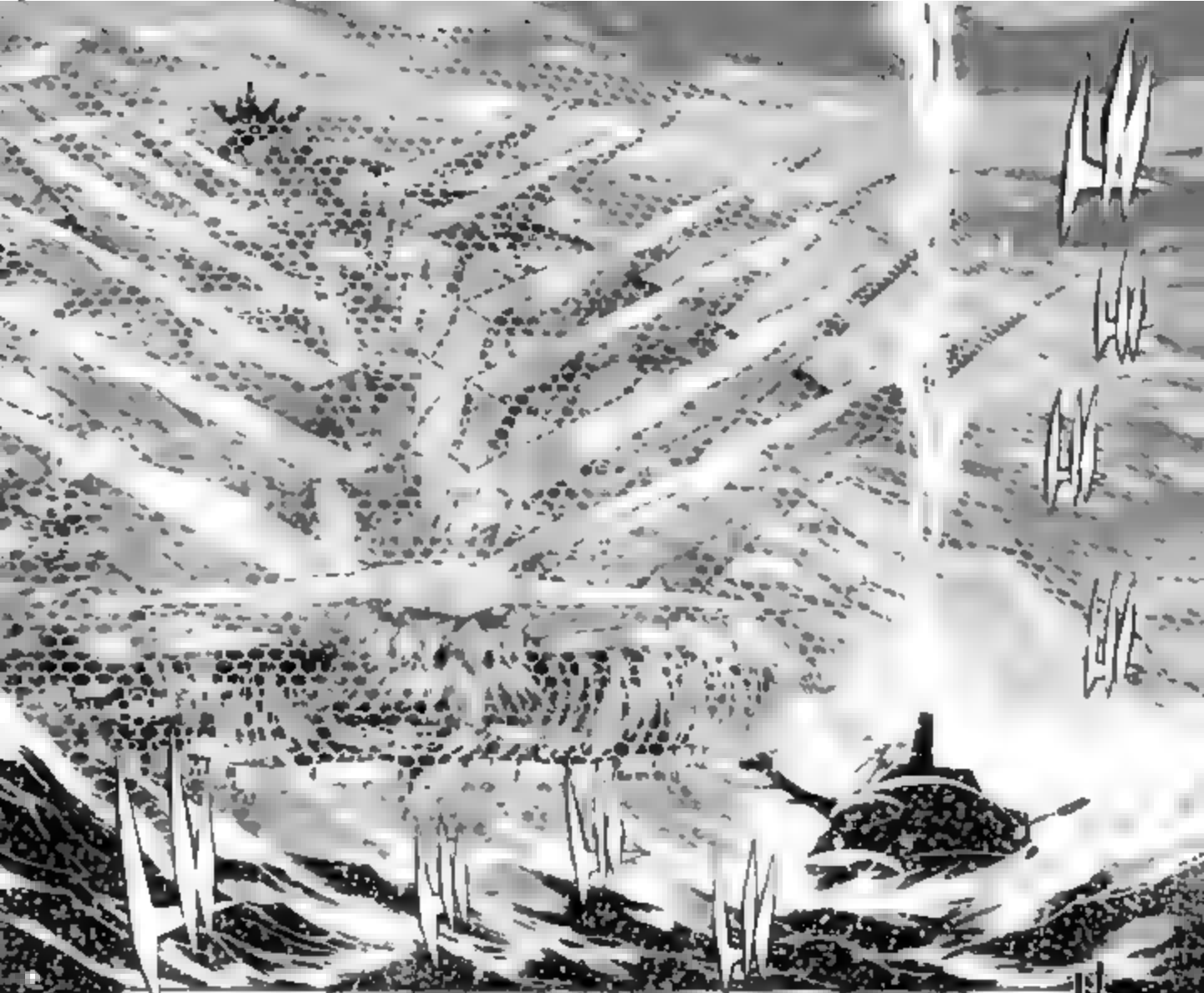
今度は











光景だね

懐かしい
光景だね

今度は
味方
全部かい

どこまでも
強敵な
機体だよ
四神つ
てのは

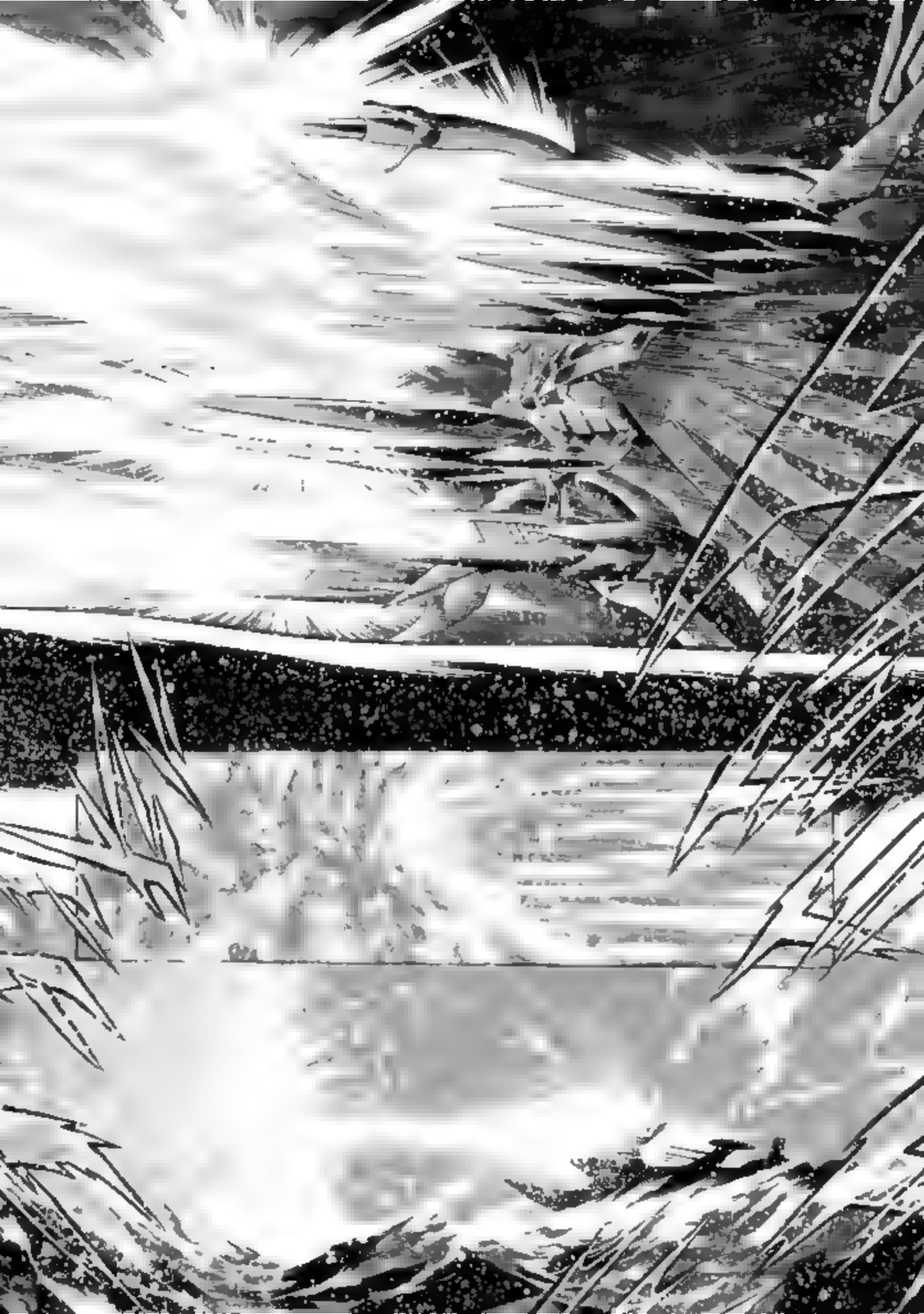
これは…

光雀と
鷹武…

轟龍と
雷虎…
魁龍
まで…!?









くそが
あああ

ち...



なかなか
やるじゃ
ないか
どこまで
続くのだ
ろかね



こちら
機関室

主機炉
出力
限界！

このままでは
危険です！

かまわん！
全力で
まわせ！

龍虎王の
方が
保たない！

魂力
充填率
80 /

85
90

各部
異常無し！

充填率
120に到達!!

各部
バルブ
閉鎖!!

気動砲
準備完了!!

飛麗
…!!

おう、

待ちかね
たぜ!

む…?

何を
するつもり
…

気動砲

発射準備
完了!!!



こんなもん
ぶら下げて
延々
戦わされて
きたからな

鬱憤を
晴らさせて
もらうぜ！

ぶっ

はははは！

こいつはいい

いいだろう
こちらは
抵抗しない

思いきり
ぶつけて
きたまえよ

君達の
血と汗と涙の
結晶を!!

ナメやがって
……

吠えづら
かかせて
やらあ！

仲間も
ちまちまと
努力して
いたんだねえ

くらえっ!!



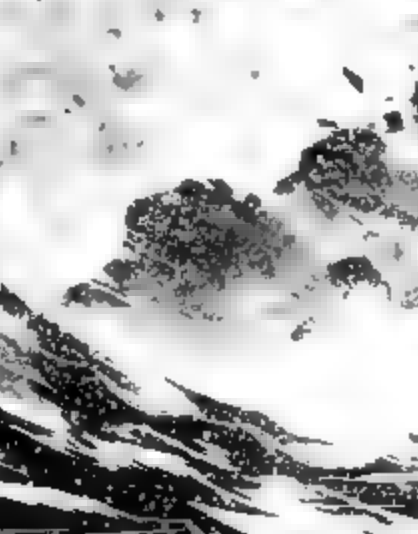




気動砲は
轟龍か
龍虎王に
持たせて
使うもの

だが
この思わぬ
五鋼合体で
想定より
はるかに威力が
上がっている

これなら





やった
...!

や...



やりましたね
副長……

ああ
……

だが
ヴァンレー
大尉様様の
行方が
つかめなかった

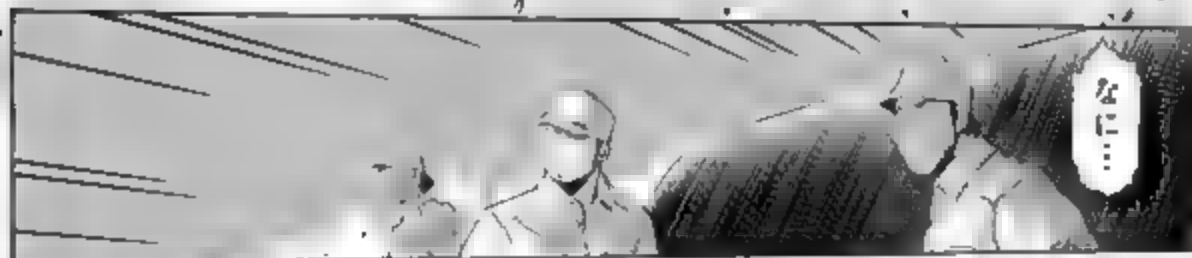
それだけが
残念か

よし！
艦体の
補修に
かれ！

救助が
来るまで
保たせねば
ならん！

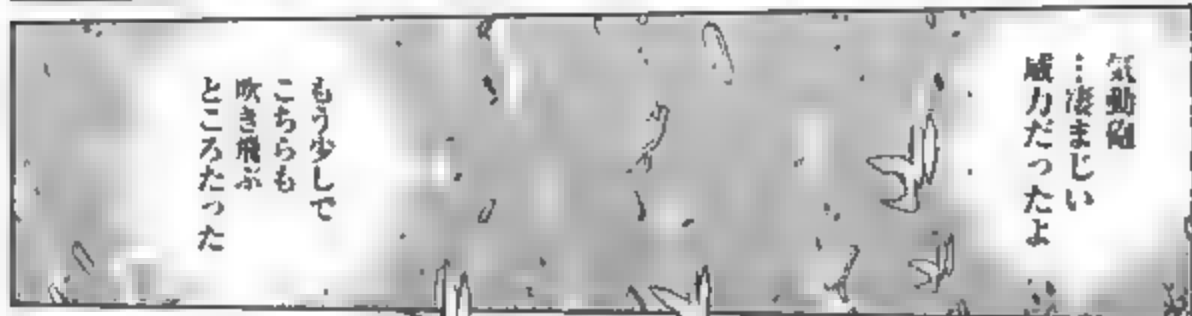
いやいや
……

揺り支度は
まだ
早いんじゃ
ないかな



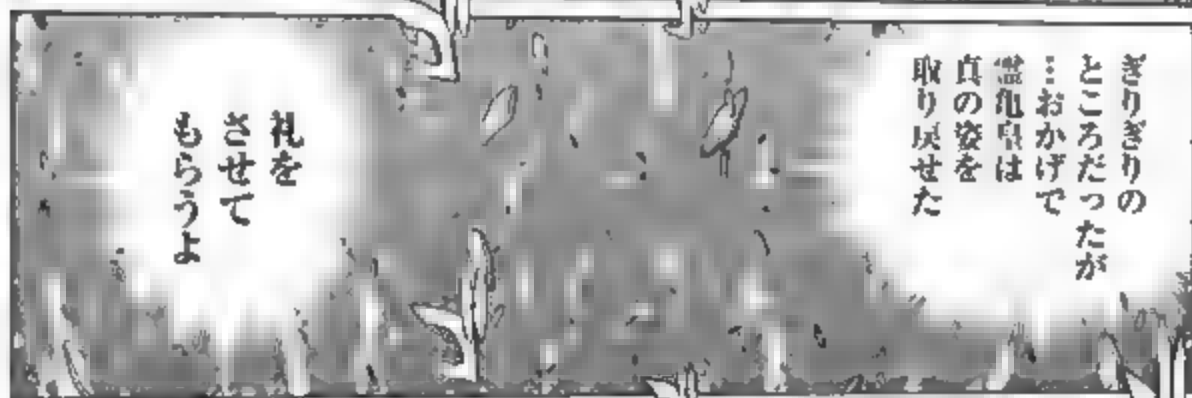
気動砲
…凄まじい
威力だったよ

もう少しで
こちらも
吹き飛ば
ところだった



ぎりぎりの
ところだったが
…おかげで
艦砲臺は
真の姿を
取り戻せた

礼を
させて
もらうよ



これが
……

あ…

あ…

あ…

真の
姿…?!



そう……
これこそが
四霊の一
霊亀皇

天駆ける
母艦



僕達バラルの
超機大戦艦だ





く…

くそがア

っっ!!!

な…



—こちらの
攻撃を
反射して
きたわね…

ああ…
それに

前は
ブツ壊せたけど
今のは
ギリギリだったぜ

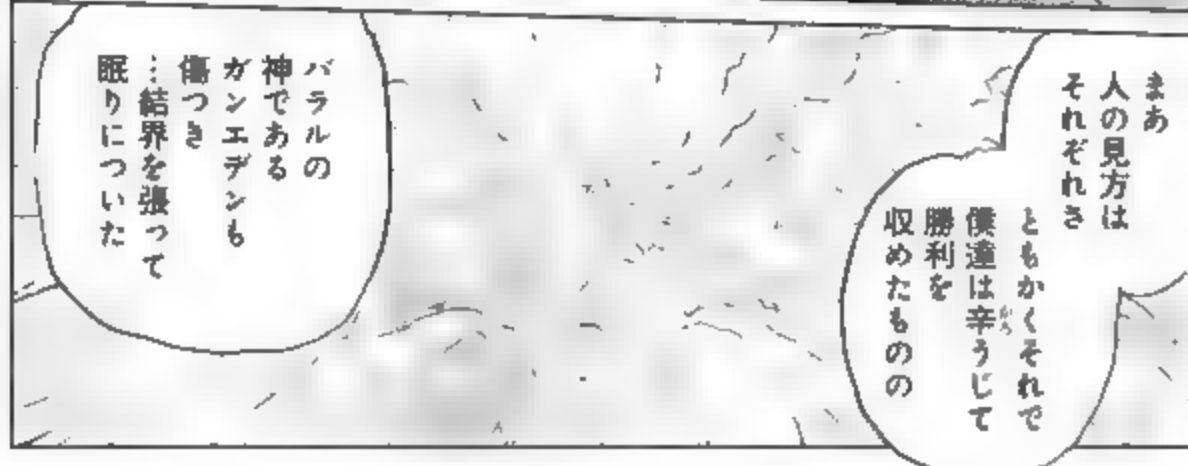
そう…
遮断…
吸収…
消失…

そして
反射

これが
最前線で戦う
超機人戦艦たる
ゼウスに
与えられた

森羅万象甲
最後の能力だ





その結界の名が
君達の捜していた
バラルの門

ガシエデンの
眠る地
バラルの園を守る
絶対障壁だ



あそこが
バラルの門

そして
本拠地

バラルの
園……！

そして
僕達
ガシエデンの僕は
大いなる計画を
成就し

地球を守る
新たな剣を
集めるために
下界に捜ったのさ

だがね



困った事に
ガンエデンの
眠りは長く……
いまだ
目覚める
気配も無い

おかげで
僕は
ガンエデンからの
力を受けられず
活動困難に
なってしまった

まあ
不足分は
人間の魂力で
まかなって
いたんだがね

それも
いいよ
振舞だ

このままだと
あと一二年で
僕達も
眠りにつかねば
ならなくなつた

そこで
甚だ
不敬では
あるがね

何とかして
ガンエデンに
お目覚めになつて
いただく事に
したのさ

そのための
目覚めの鐘が

この
霊亀皇だ





機人同士の
戦い
なんだよ

その戦いの中でも
最高の魂力を
引き出すのが
いい



だから
君達が
その艦に
乗り組んでからは
君達としか
戦って
いないだろう？

そして
見てのとおり
君達は充分
僕達の期待に
応えてくれた

感謝
するよ



じゃあ
…… 私達の
戦いは

私達が
戦わなければ
あなた達は
勝手に眠りに
ついちゃって
いるの……？

いやいや
安心
したまえ

君達が
相手して
くれなれば
妖機人どもを
世界中に
けしかけて
やったさ

だから
君達の
戦いは
無駄なん
か

踊っていた
だけの
ことさ

ただ
僕の掌で

いや
連うな
僕達の
掌だ

僕と、
その巫女と
艦長
そして
ブランシュタインと
グリムズのね

く……!

……

なに……
どういう
ことだ……!

さて

そのへんは
そちらで
話をして
くれたまえ

僕からの
話は
終わりだ

バラルの
門を
開く

新たな世界の
始まりだ



な...

なんだ
.....



奴が
回転して

加速して
いく……

く……

……みんな
知っていました
……

彼らの
目的も
……その
手段も……





……
美曜

……
あんた



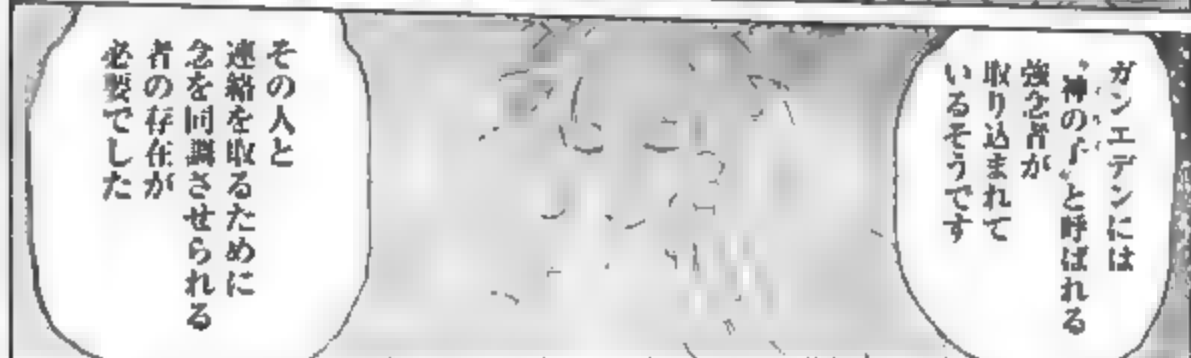
バラルの門を
開くための
方法……
霊亀皇と
もうひとつ
……

それが
ガンエデンの巫子
……神の子……



神の子……

さつき
言っていた
……



ガンエデンには
神の子と呼ばれる
強者が
取り込まれて
いるそうです

その人と
連絡を取るために
念を同調させられる
者の存在が
必要でした



門の中が
どうなっているか
まったく
わからない

ひょっとしたら
中の神の子も
何があって
出られないのかも
しれない

外からは
絶対防壁の
バラルの門も
中からなら
何かできるかも
しれない

だから外部に
受念器代わりの
者を置けば
神の手も
意思を
伝える事が
できるかも
しれない

そう
考えた彼らが
求めたのが
強念者の家系
である光徳家……
その次期当主だった
私でした……

……
ですが

なんですと

もう
いい……
とは!?

言うた
とおりじゃ

あの銀
なみなかの
ものしやが
受念器には
いささか
初足りぬ

そ
そんな
……

それに
ほれ

先約も
あつた
ようしや

あちらで
銀の研鑿を
手伝うて
もらう方が
よかるッ

参るぞ



そう…
知って
いました…

雲竜皇の
ために…
私達の
戦いの気が
必要だった
ことも…

そのうえで
…待を
戦わせて
いたのです



私の父・母・姉
……そして
……族みんなの

復讐の
ために……

——ごめん

なさい……

……奴が

パラルの
門の方へ
……

俺達の
した事は……

何ってん
だ……



飛麗
……

奴らに
復讐
したいのは
みんな
一緒だろ

んなもん
気にする
こっちゃ
ねえよ



あのカメラが
どうだって
……わかって
気動砲に
賭けるしか
なかったん
だろ？

それで
あと一息
だったじや
ねえか



だったら
ぐだぐだ
言ってる
ヒマは無え

あと一発
ブチかます
だけだ！

しかし
どうやって

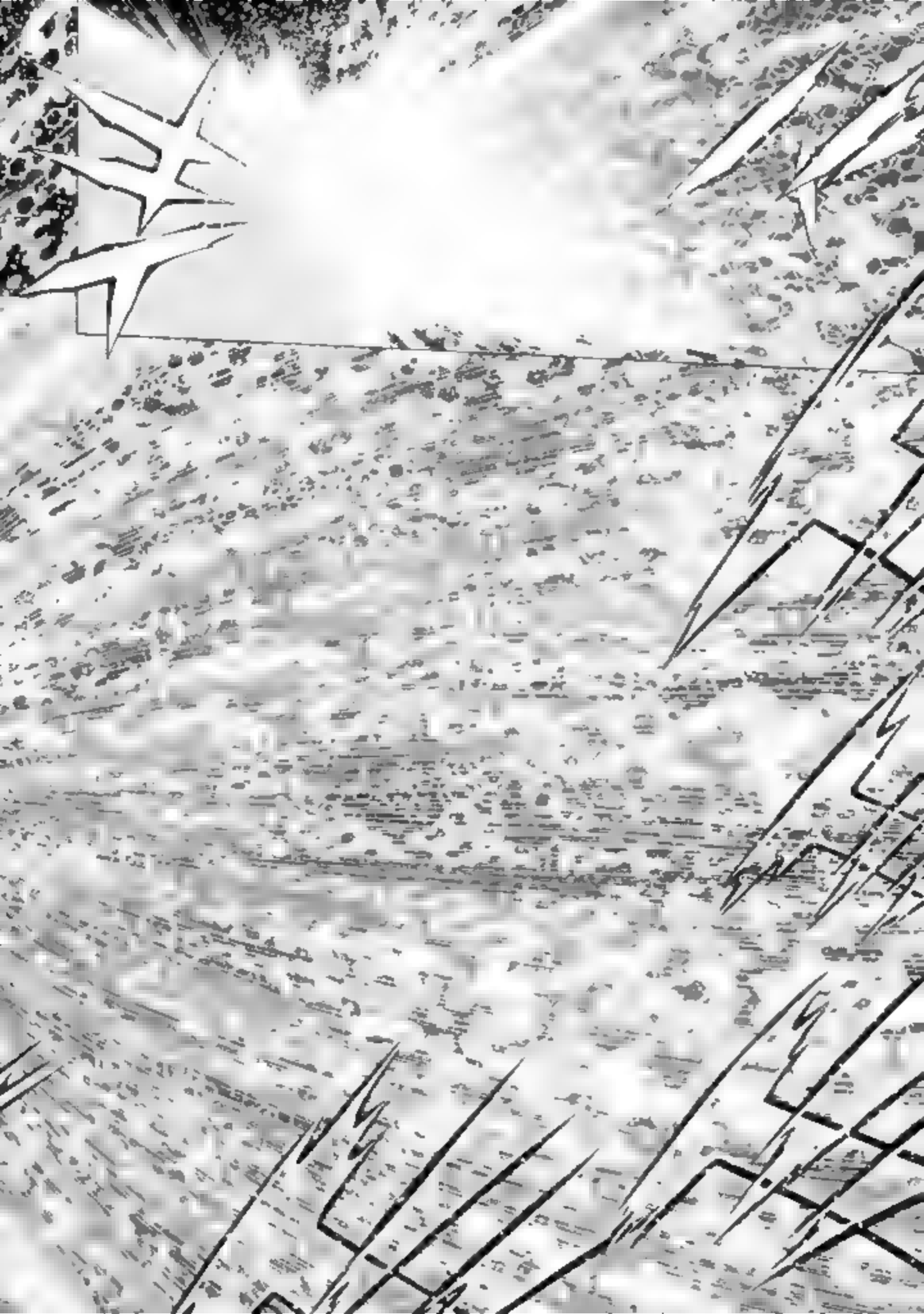
気動砲も
もう……

飛麗
……

あるじゃ
ねえか
まだ

最後の
武器が
!!!

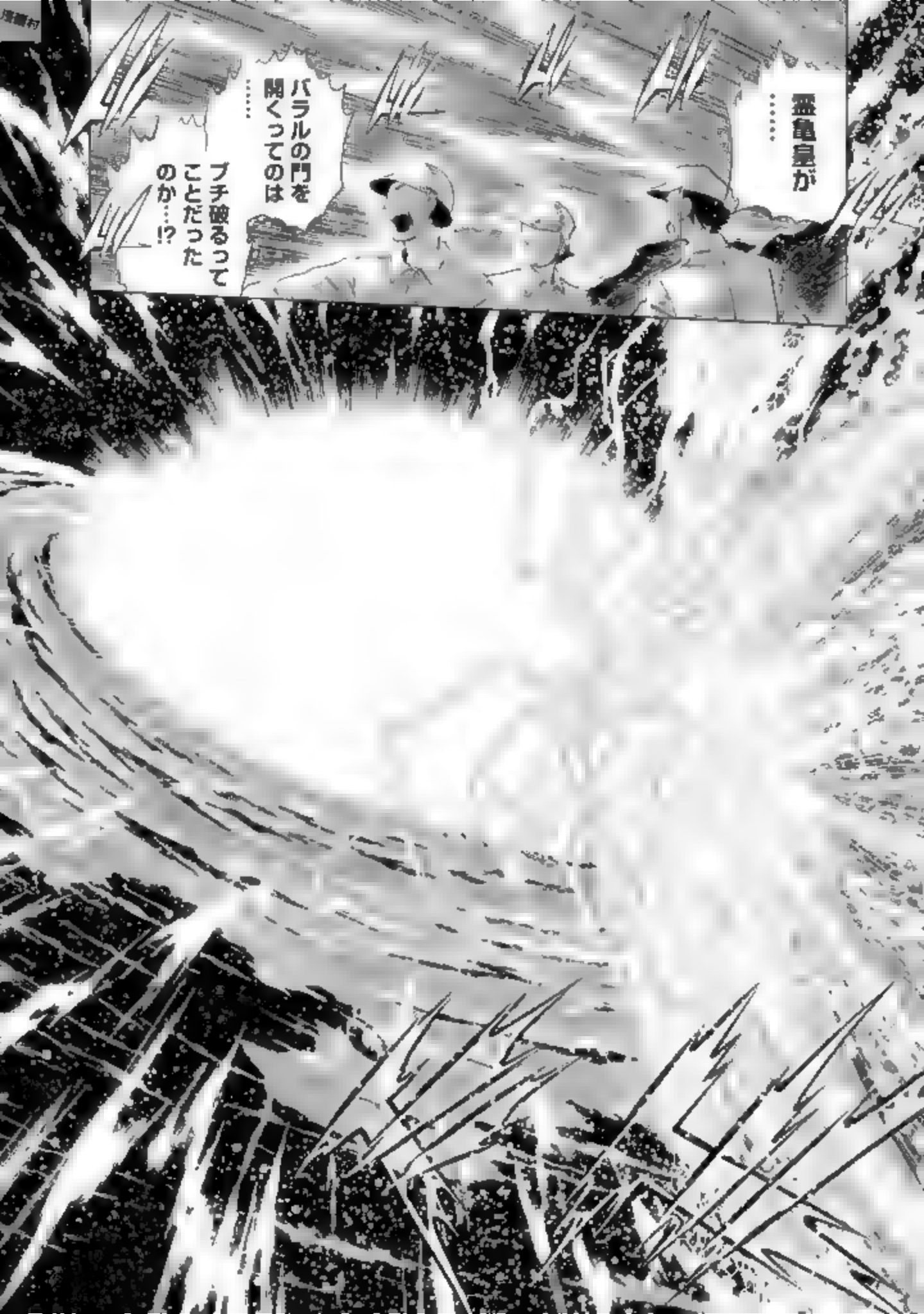


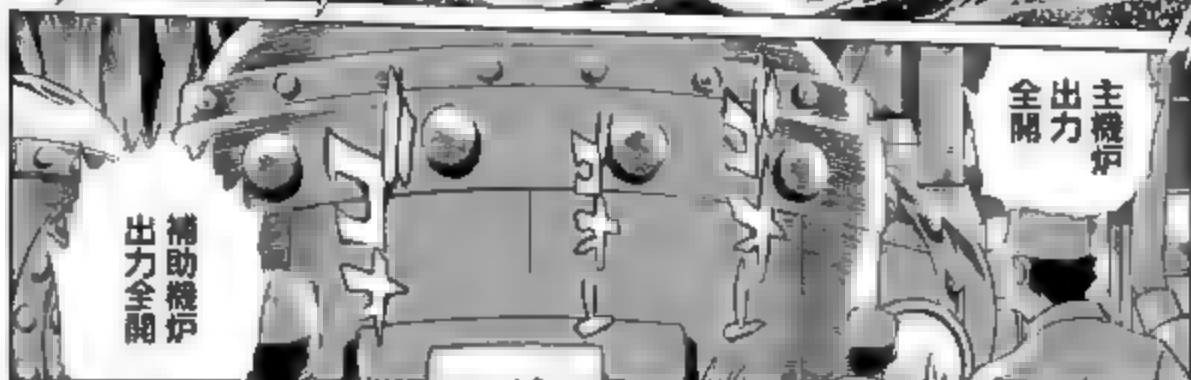


.....
靈龜皇が

.....
ハラルの門を
開くってのは

.....
ブチ破るって
ことだった
のか...!?





……

バカね

母様に
……ちよつと
似ていたよ
……



さて

上手く事が
運ぶかのう

すまないね
御老体

手伝いを
頼むよ

バラルの門は
絶対防御
最強の盾

ならば
その盾を
砕くには
同じ盾を
ぶつけるしか
ない

最前線で戦う
靈龜皇に
与えられた……
バラルの門には無い
森羅万象甲の
能力

反射に
よって！

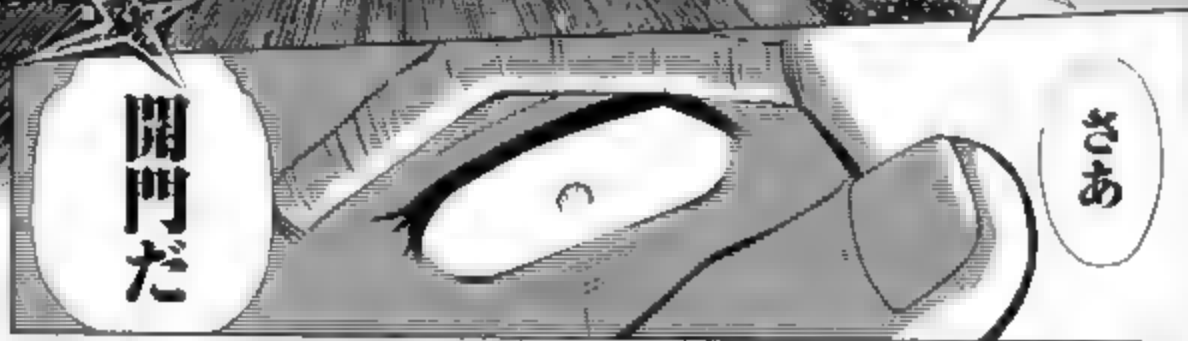
さすがは
ハラルの門

靈龜皇を
包み込もうと
しておるな

それも
困るね

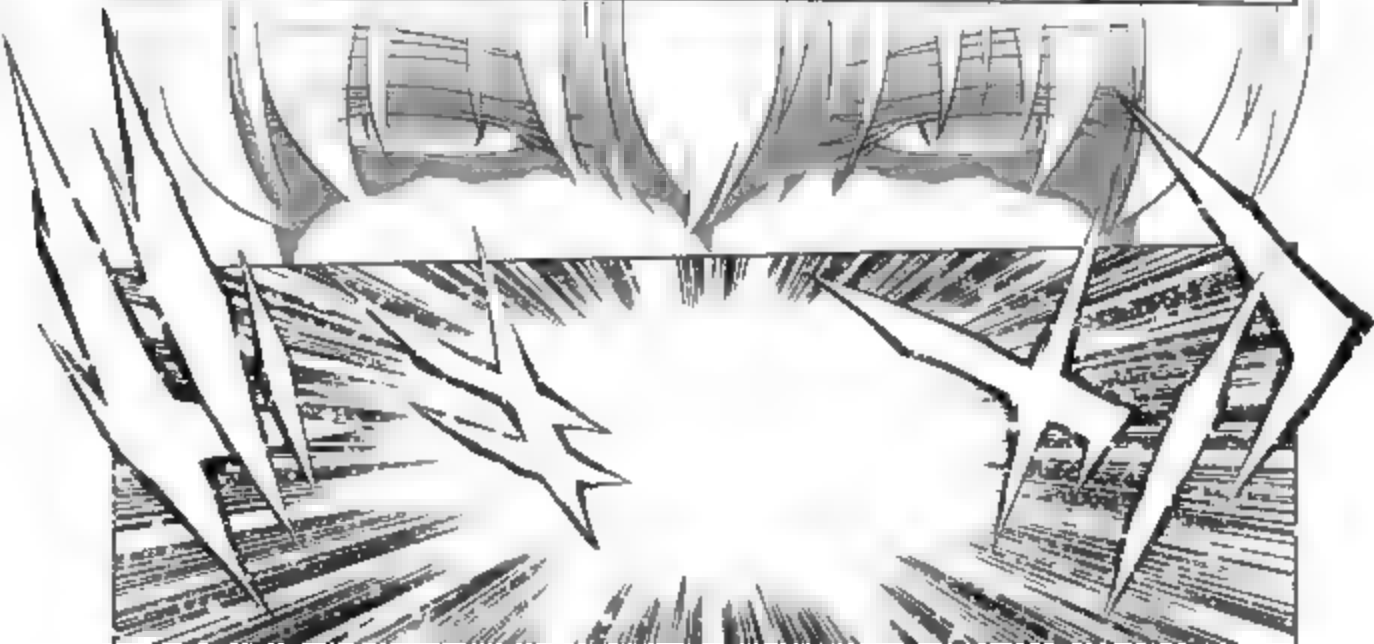
まだまだ
こちらで
やる事が
あるからね

しばらく
門は
開けといて
もらわなきゃ



ああ

開門だ







さて

この状態で
いつまで
保つか

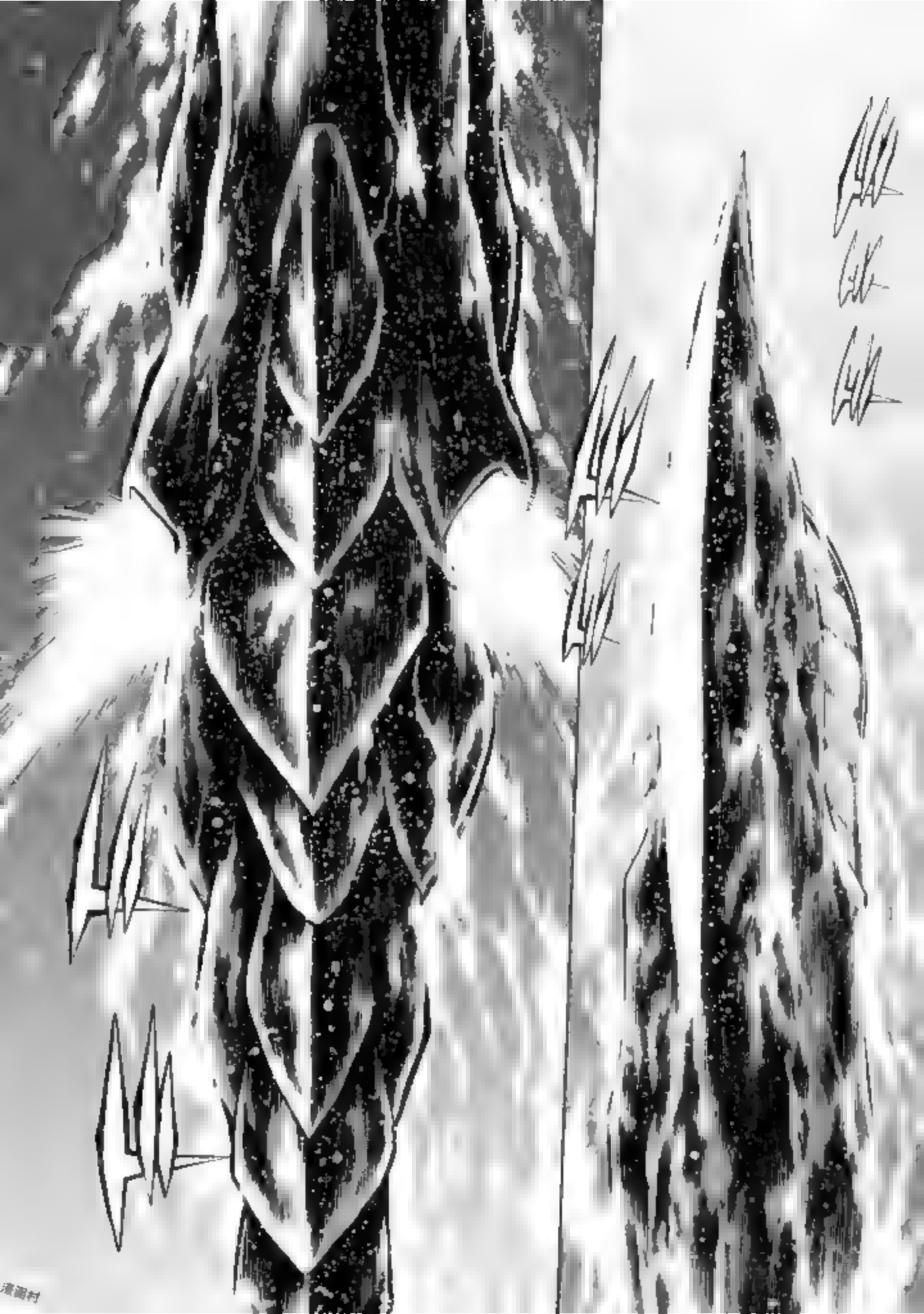
異界からの
干渉を
受けぬうちに

神の子に
お目覚め
願おうか

そうすれば

永遠に
君と…











ほほう

そういえば

あの艦は
刀にも
なつたんだっけ

やりおるわい
艦と
偽機人が
妖転せず
超機人に
迫る力を
出しておるわ

これも
歴戦の
魂力が
成せる業か

存外
侮れぬぞ

パラルの
門……いえ
パラルの
凄まじい
力が……

これ
は……

こちら
機関室

主機炉
補助機炉
出力
限界!!

長くは
保ちません

こちらまだ
飛躍
……

頼むぞ

聞けるか

霊亀屋は
ハラルの門を
開くのに
全力を
使っている

チャンスは
今しか
ない!

ああ……
わかってる

任せ
ときな

行くぜ!!!

愚かな

これから
世界には
大きな
戦が
起きる

パラルの門を
開いた
僕達に
任せておけば
全て解決
できるのに

新たな
世界

総人
川解計画に
よって!

そんなもん
知るかよ

世界の
ことなんか
関係無え
!!

高い所から
偉そうに
見下しやがる

てめえらが
気に入らねえ
だけだ!!

いっぺん
上から

ブツた切られて
みやがれ!!

龍王

破山剣が
変化



斬艦刀



皇断

オーダー

!!!



ぬう…

この力
は…

まさに
“破壊”に
特化した

森羅万象甲でも
食い止めきれぬ

最強の剣よ

龍虎王!!!

なんとする
光龍

パナルの門にも
押されて
おる

——最強の
剣ゆえに
：へし折りたく
なかったん
だけどね

まあ
仕方
ないか

そろそろ
きつくなっ
てきたのう

——消し飛んで

もらおう



森羅
万象砲
で!!!

この

オーダーの
諸君

さらばだ







……
やったぜ

……

え……

つうても
どうすんだよ
これ

知るか

一か八か
飛び込め

副長

我々も

ああ…

総員退艦

総員
退艦

!!

霊亀皇が

……

バラルの門に
飲み込まれて
いく





……
してやられ
たね……

霊龜皇を
一瞬でも
制御する力を
たくわえて
いたとは……

それとも
君の
差し金かな
？

いえ……
彼女自身の
意思……

むろん
私の思いでも
あります

今はまだ
目覚める時ではない
……そしてあなたも

目覚めている
時ではない……

なぜ
こんな事を
したのです





傷が
ね…

治って
しまつんですよ

眠って
しまつてお
な

あの時
彼女が
くれた

唯一の
絆が
……



起きている
以上は

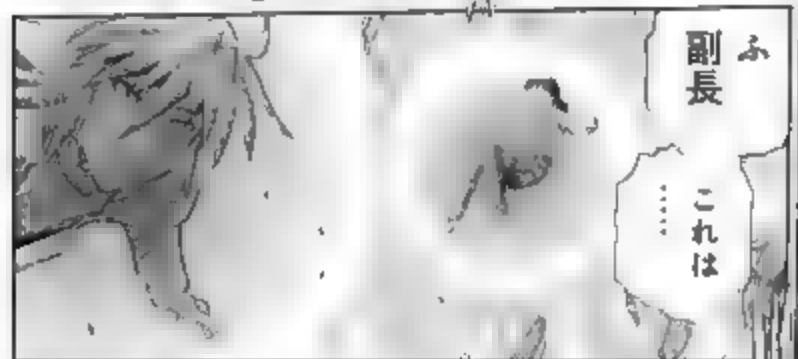
何が
してないと
通回しや
ないですか

けど
…もういいや

…僕の女神
二人共に
叱られたんじゃね

解放して
あげますよ
……





私の叔母

…おまえの
大叔母様だ

…二十年前に
行方不明に
なってるね！

…綺麗な
方ですね

僕が
…必ず
捜しだし
ますよ

ヴァレリー！
フォン・

ブラン
シュタイン…

ありがとう

みんなを助ける
力を分けて
くれて…

でも
いいの
かじら？

付き合っ
てあげても
よくてよ？

ああ…
気持ち
うれしいがね

眠りにつく
僕に
付き合わせるの
は申し訳ない

そのかわり
…君の
魂の欠片を
…少しだけ
もらうよ

さようなら
ヴァレリー

幸せにね



僕も…
次に
目覚めたら

もう少し
気楽に
生きることに
するよ…

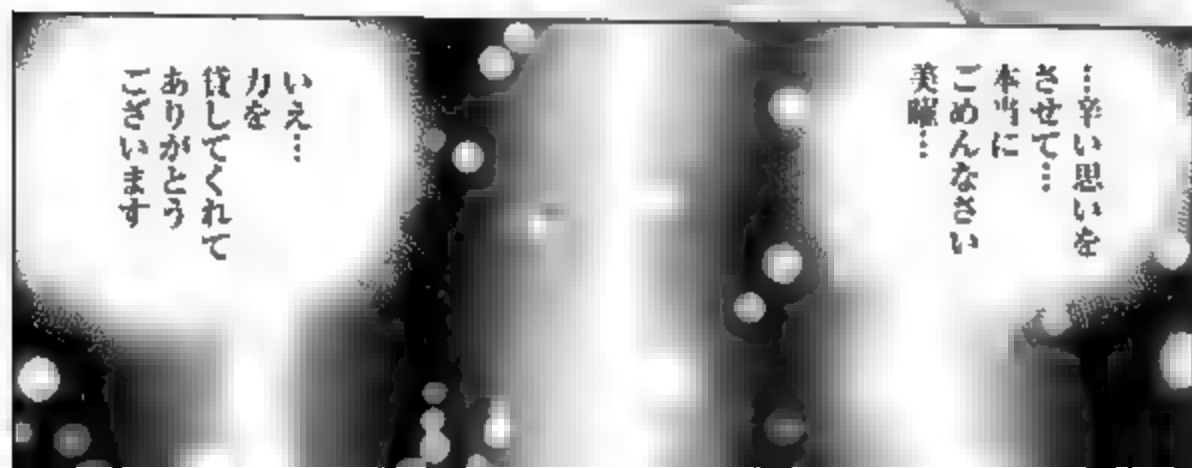
そうね
……

さようなら
…アキラヴ
……



…辛い思いを
させて…
本当に
ごめんなさい
美曜…

いえ…
力を
貸してくれて
ありがとうございます
ございます



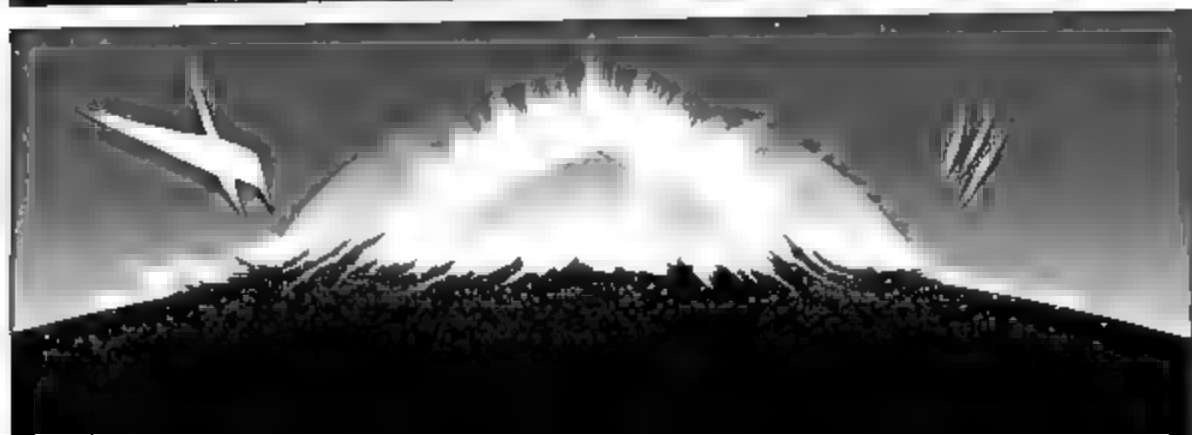
失われた命を
…傷ついた体を
戻すことは
できませんが
……

せめて
でき得る限りの
生を…



そして
…また
あなたか
……

あなたの
子孫に
出会った
時は…





.....

我等に

.....

断てぬもの
無し...

こういう時は



そう言うん
だって…

バカ野郎

それが係に
最後に教える
葉かよ

馬

隆馬…

もう
いいの…?

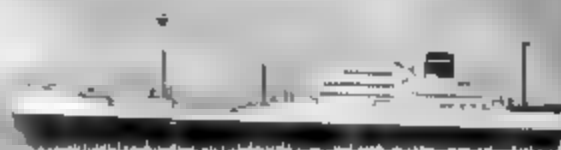


ああ…
待たせたな
文麗…

お疲れ様

その後――
あだし運は

オーダーの船に
助けられ
帰還



傷ついた
龍虎王は
蚩尤塚に封印され
深い眠りについた

彼らがまた
目覚める時が
くるのか
……それは
わからない

……ただと再び
……パラルの門が
開く時

世界を
百邪が
襲う時

誰かが
彼らを
呼ぶだろう

戦いは
終わった



唱えよ

必神
火帝

天魔
降伏

吾らは

……

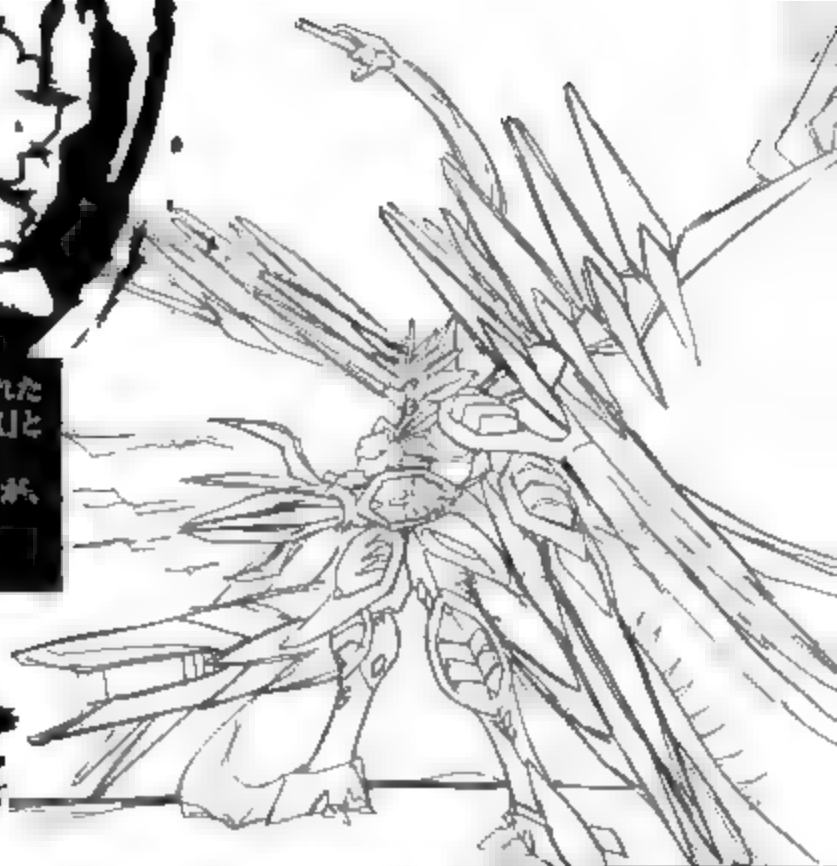
奇伝王虎龍
完 第二部

五鋼合体王 魁龍虎王

パラルの妖機人や超機人との戦いで鍛えられた「轟龍」「雷虎」「光雀」「嵐武」そして「魁龍」と龍虎王が合体した形態。鋼機人の機体強度の関係で防御力は劣るが、攻撃力は四神招魂に匹敵する。龍戦形と剣戦形の二形態がある。

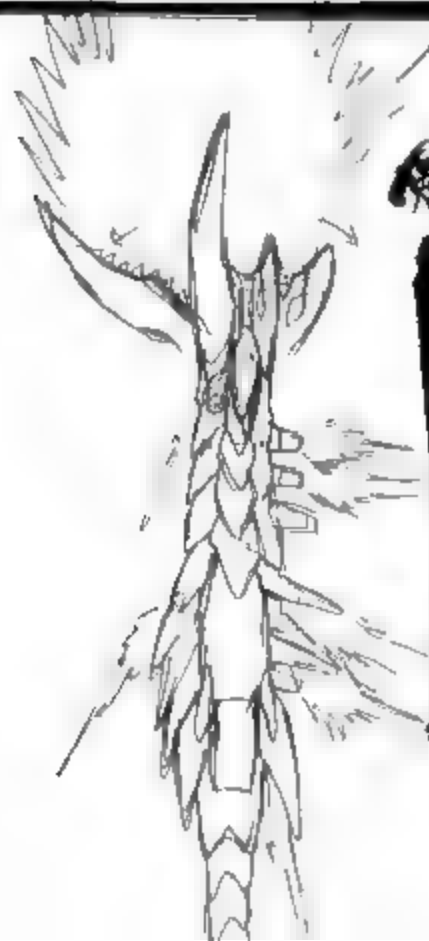
砲撃形

気動砲、黒蛇砲、流力砲、電磁砲、流力魚雷など多数の射撃武装を持つ。



剣戦形

龍王破山剣を軸として、魁龍を大型剣に変化させた。鋼機人の出力は全て姿勢制御にまわされている。





ああ...

寒い戦い
だったんだね
...



時代が
時代だから
苦労した
みたいだね

涼夜は
エドに
ついてって



桂馬
曾祖父ちゃんとは
これで
知り合った
のか
ぽんちゃん



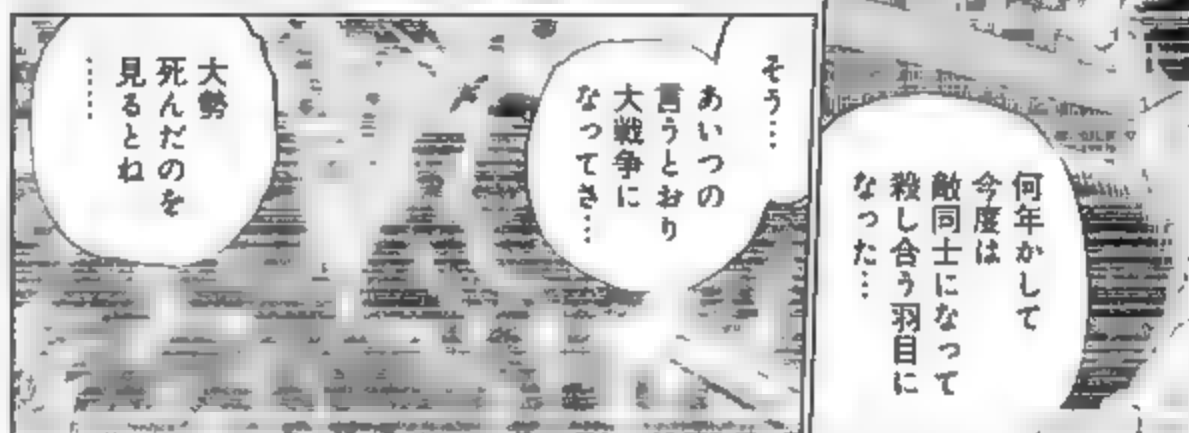
アリッサの
親父が
ろくでなしに
なっちゃった

まあ
息子には
良かったん
だけとねえ
あのバカ
孫は
甘やかす
もんだから



まあね

帰り
傷だらけで
ひっくり返ってたから
看病して
やったんだよ



軽々しくは
言えない
けどさ……

けど
バトルの奴らの
言うとおりにして
もし平和に
なれたとしても
……それって
幸せじゃ
ないんじゃないかな……

だから
……仲間
ちゃん達の
した事は
……正しかったと
思うよ

……

ありがとう

さて

しかし
大変だね
あの状態が
生きてたなんて

とどめは
刺したんだ
ろうね

え……

あいや
……たぶん
……

……
……
……

それにまだ
同志八房っ
てのが
いるみたい
だし

思ったより
生き残りは
多いよう
だね

じゃあ
まだ
死んだ
仲間の
ためにも

最後の
ひとがんばり
するかね

.....

心配
いらないよ

奴らとの
戦いは
.....

僕達が
するから

.....

そうかい

じゃあ
あとは

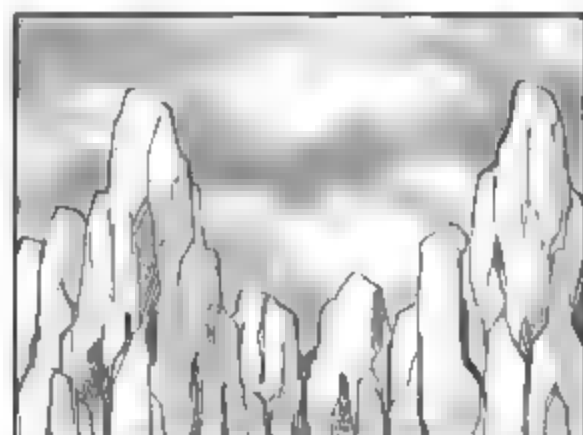


頼むよ



龍虎狂伝奇

完



〇く。お一杯やりまう!

2001年に発売された「スーパーロボット大戦α」のオリジナル主人公機として初登場した龍虎王と虎龍王……そして、「スーパーロボット大戦」シリーズのスピンオフ作品である「スーパーロボット大戦OG」。さらにその番外編である「龍虎王伝奇」。さらに、初登場時から15年以上経って出された「完結編」のあとがきまで読んで下さっている方々にこの場を借りて深く感謝致します。

「龍虎王伝奇」の成り立ちについては、「龍虎王伝奇 下巻」のあとがきに書きましたので、ここでは割愛致しますが……3、4年ほど前から富士原先生とお会いする度に「龍虎王伝奇」は完結できるのかどうか話していました。そして、150ページ以上の描き下ろしと「完結編」単行本化というKADOKAWAさんのご英断のおかげで、何とかフィナーレを迎えることが出来ました。

第2部は休載期間を含め、長期に渡って細々と続けていたのですが、ゲームの「第2次スーパーロボット大戦OG」に雀武王と武雀王、光龍や応龍皇が登場したり、泰北が「龍虎王伝奇」に出たりとクロスオーバーのネタを色々と仕込むことが出来ました。また、「魔装機神」シリーズの完結編である「魔装機神F」の重要人物、サキト・アサギは美曜の一族の末裔という設定であり、彼の潜在能力の裏付けとなっています。

第2部の中盤以降のストーリーについては、私が大まかな流れを決め、OG本編との設定のすり合わせを行った後、富士原先生にお任せするというスタンスでした。終盤で霊亀皇を叩き斬った「皇断」は、後々でそれをやるために「オーダー」という組織名を考えついた……と言いたいのですが、これは富士原先生の発案で、見事なまとめ方だったと思います。

最後に、龍虎王、虎龍王、雀武王、武雀王のデザインをして下さった宮武一貴さん、超機人や妖機人などのデザインでご協力いただいた八房龍之助さん、「龍虎王伝奇」という作品を発表するきっかけを与えて下さった中島かずきさん、歴代の担当編集者さん、そして長年お付き合いいただいた富士原先生と読者の方々に厚く御礼を申し上げます。

スーパーロボット大戦シリーズプロデューサー 寺田貴信

あしがきのへんじ

お買い上げくださった皆様、ありがとうございます。
お楽しみいただけたでしょうか。

『超機人龍虎王伝奇』開始から
15年をもちょうど完結しました。
一度は中断したこの物語に機会を与えて下さった
KADOKAWA様には心から感謝いたします。
だというに頁数やめ切で御迷惑をおかけして
申し訳ありませんでした。猛省いたします。

この長い間、色々な事がありました。向が空いたり
掲載形態が変わったことで用意していたネタがなくなったり
(まあそもそもOKだったのかという奴もありますが…当初の最終決戦は
巨大化した本体になった光龍と龍虎王が南極までまわったかなあ)
逆に休載中に自分で『第2次OG』用にデザインした金一とへんげんを出したり
『外伝』を描けたおかげでエピソードがいろいろ感じになったと自覚したり。

ともかく開始当初の想定とはけっこう違う物語にはなりましたが、
描きたかった事はほぼ何とか入れられたんじゃないかと思っています。
(強いて言うなら魁龍乗員ののんびり日常話をやれたかなとすね。あと外巻回とか(笑))

『伝奇』はこれで幕を下ろしますが、龍虎王の単行本はまだまだ続くでしょう。
その雄姿を目にする時、かつて共に戦ったこの連中の事どうしても思い出してくれたり
作者としてこれに勝つ喜びはありません。

それでは最後になりましたが、ここまでこの『龍虎王伝奇』に関与下さった全ての皆様、
御覧下さった諸者の皆様、ありがとうございます!!!

そして寺田さん、お疲れ様でした!!!

またどこかで会いましょう!!

2017.01 富士原昌幸

「アサキのへんじ」
龍虎王乗員さん、
ここまでお読み
ありがとうございます。
と、外巻は
作者がいろいろ
うろたえていた
ので、まあまあ
お読みしほいでね。

電撃コミックスNEXT

スーパーロボット大戦OGサーガ 龍虎王伝奇 完結編

著者 富士原昌幸

2018年2月15日 発行

©SRWOG PROJECT

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
電撃コミックス「スーパーロボット大戦OGサーガ 龍虎王伝奇 完結編」
2017年3月10日 初版発行

発行者 郡司 聡
発行 株式会社KADOKAWA
<http://www.kadokawa.co.jp/>
プロデュース アスキー・メディアワークス

アスキー・メディアワークス 「お問い合わせ」
[WEB]<http://asciimw.jp/info/inquiry/>

本作品の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信すること、
あるいはウェブサイトへの転載等を禁止します。
また、本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
本作品購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず
本作品を第三者に譲渡することはできません。
本作品を示すサムネイルなどのイメージ画像は、再ダウンロード時に
予告なく変更される場合があります。
本作品の内容は、底本発行時の取材・執筆内容にもとづきます。
また、ご覧になるリーディングシステムにより、表示の差が認められることがあります。

カバー・本文デザイン 亀口和明



BOOK★WALKER